

關大

第564号

平成23年(2011年)7月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館

電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476

URL <http://www.kandai-koyukai.com/>

Eメール koyukai@ml.kandai.jp

第97回定時代議員会開く

平成22年度事業報告と収支決算を承認

校友会奨学生証授与式を挙行

専門職大学院生・学部生に給付育英奨学金

第27回支部対抗親睦ゴルフ大会を開催

東大阪支部が9年ぶり3回目の団体優勝

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について②

速記部が全日本大学速記競技大会で46連覇達成!



KANDAI
ZOOMING

「悠久の庭」

創立120周年記念事業の1つであるキャンパス・アメニティ整備事業の一環として平成18年（2006年）に、生協（誠之館1号館）跡地を、ベンチを配した学生の憩いの場として整備し、完成した。

以後、学生の様々な催しの会場としても利用されており、また、校友会のスプリングフェスティバルの野点会場・俳句コーナーの会場となっており、スプリングフェスティバル参加校友にはお馴染みの場所。

完成した18年11月1日には、芝生広場を囲む23本の樺を約1万5千個のLED（発光ダイオード）によるイルミネーションで飾り、輝く広場を演出。原則として大学休業日以外の夜間に点灯され、学生はもちろん、地域住民にも楽しんでもらえる空間となっていたが、現在は節電要請に応じて消灯中。



関大 564号 目次

本部活動

- 2 **第97回定時代議員開く**
平成22年度事業報告と収支決算を承認
校友会奨学生証授与式を挙行
専門職大学院生・学部生38人に給付育英奨学金
- 6 **第27回支部対校親睦ゴルフ大会を開催**
東大阪支部が9年ぶり3回目の団体優勝
- 6 **東日本大震災に関する関西大学の主な対応について②**
「震災義援金」第1回目を日本赤十字社に寄付
秋学期以降の被災学生、受験生の支援策を発表
- 8 **義援金へのご協力を感謝いたします**

大学・学生関係

- 10 **文科省の23年度私立大学戦略的
研究基盤形成支援事業に2件採択**
河内刀匠が故末永雅雄名誉教授遺愛の刀を大学に寄贈
新緑の千里山キャンパスで教育後援会総会ひらく
第34回総合関関戦、3連敗喫し通算成績16勝17敗に
速記部が全日本大学速記競技大会で46連覇達成
- 16 **関西大学の就職状況について** —キャリアセンター所長 亀田 健二
- 18 **きらっ人校友録 ③1** アイ・キューブ代表取締役 広野 郁子さん
- 20 **おめでとうございます 春の叙勲・褒章受章者**
- 21 **オース! ごきげんさん。(38)** 青春の夢を追い求めて—川原 正(上)
- 22 **北から南から<各地支部だより>**
組織部からお知らせとお願い
- 36 **随筆 苗村七郎先輩と万世特攻慰霊碑一畑下 辰典**
- 38 **新刊紹介**
- 40 **会と催し 訃報**



校友会奨学生証授与式で挨拶する楠見学長

葦の甲

東日本を襲った大震災から、はや数カ月がたった。過酷な運命の犠牲になられた多数の方々のご冥福を祈るばかりである。残された家族や友人は悲しみに打ちひしがれながらも、厳しい現実と闘って生きていかねばならない。ご心労に心からお見舞い申し上げたいと思う▼福島原発事故の処理も未解決であり、被災地での問題は山積みだが、とにかく復興は少しずつ進んでいる。テレビ、新聞の報道も徐々に落ち着き、この前例のない災禍を冷静に見始めている。私たちは被災地で苦勞されている方々の生き様から、生きていく上で大切なことを学ばせていただいている▼人間はこの世に生まれてから死ぬまで、偶然の出会いと自身の選択により自分のドラマを紡ぎながら一定の時を過ごす。未曾有の災害はその時の流れを突然断ち切った。生きるとは何かと自問せずにはいられない▼すべてを失ったとき、未来を築こうとする意志がなければ人は前に進めない。絶望と悲嘆の涙に溺れていては人生の「波」にまで呑みこまれてしまう。ゼロからのスタートには勇気が必要だ。ふるさとへの愛も原動力となる。そしてほんのわずかな光、ひと握りの希望があれば、人は逆境にあっても生きていくのだ。また、それこそが生きているということなのだ▼もうひとつ気づかされたこと、それは日本人としての誇りである。かつて狩猟民族だった欧米の人々から見ると不思議でさえあるのだろうか、日本人はどんなに追いつめられ困難な状況でも、調和を保ち譲り合い他人を尊重する礼儀正しさを備えているというのだ。同じ農耕民族の中国からもそれは絶賛された。世界が日本人をこのように見ているとは、なんともうれしい話である▼被災された方々が一日も早く胸を張って再出発されるよう、心から願っている。そして、母校関大に学ぶ学生たちにも、ぜひ日本人としての誇りと希望、そして勇気をもって、大きく未来に羽ばたいていただきたい。

第97回定時代議員会開く

平成22年度事業報告・収支決算を承認

平成23年度収支補正予算(案)も承認
 今後は予算成立時に付帯決議で対応



校友会の第97回定時代議員会が、6月11日午後1時から千里山キャンパス・100周年記念会館で開催され、全国から650余人の代議員が出席。「平成22年度事業報告(案)」について「平成22年度収支決算(案)及び貸借対照表並びに財産目録について」「平成23年度収支補正予算(案)について」の3議案につき慎重審議を行い、いずれも原案通り可決承認した。

大東恭治・仁井ひろみ両総務副部長の司会で進行。開会に先立ち司会者から学園敷地内における全面禁煙に向けた完全分煙化(喫煙場所の指定)への協力及び東日本大震災義援金募集への協力の依頼が行われた。

古川好男副会長の開会挨拶に続いて、学歌斉唱、黙祷、来賓紹介があり、寺内俊太郎校友会長が挨拶。

寺内会長はパワーポイントを使い、まず東日本大震災の被災現場の写真を映し、哀悼



寺内会長

の意を表し「戦後の焼け野原を思い出している。その中から先輩たちが努力を重ね、日本は見事立ち直った」と語り被災地の一日も早い復興を祈り、台湾留学生OB会から150万円の義援金が送られてきたことを伝え、代議員の更なる協力をお願いした。また、社会安全学部が行った「緊急シンポジウム」を紹介。「河田先生をはじめ社会安全学部の先生方が、各方面で活躍されていることを誇りに思うし、先生方に敬意を表したい」と述べた。

続いて、堺キャンパスB棟の竣工や上海オフィスの開設、スプリングフェスティバル、奨学生証授与式など、3月の代議員会以降の大学、校友会の出来事と学生の活躍を紹介。最後に、法科大学院の現況につき、司法試験受験者数と合格者数の推移、合格率の推移などをグラフで示し、「現状が続けば母校の法科大学院の存

続が危ぶまれる。現状を認識した上で、私は頑張れ法科大学院とエールを送りたい。これは125年の歴史を将来に繋ぐ大きな要因の一つになると思う」と関係者に努力を要請。「21世紀型総合学園を目指す母校関西大学の今後の発展、活躍を願う。そのため我々は常に母校の動静を注視し、母校の永続的な充実・発展のため、物心両面にわたって協力・援助することを惜しまない」と結んだ。

来賓挨拶で上原洋允理事長は、「東日本大震災では校友、学生とも被災された方がかなりおられると思う。学生に関しては皆さんから頂戴した特別義援金から被災に際して援助している。また一般義援金については第1回分を5月に日本赤十字社に届けた。募金いただいた皆さんにお礼を申し上げ、引き続きのご協力をお願いしたい」と述べ、大学の現況については「大学の



上原理事長

入口に当たる受験者は、推薦入試を含めると9万人を超えた。一般入試は約8万6千人で明治、早稲田、法政、日本大学に次いで全国5番目、関西ではトップで、近畿、立命館の順となっている。

教育については、社会力、人間力を付けるよう教員と事務職員が一体となって取り組んでいる。最後の出口、就職については3月末現在で就職希望者の94・3%が決まっている。残り6%弱の未定者についても100%となるよう卒業後も支援している。

私が、校友会長を退任して大学の専任となって5年になる。歴代理事長、学長の方針を引き継いで、教職員と共にそれを大きく花開かせていくのが務めでもある。13学部を擁する現在、各学部が切磋琢磨



廣瀬副学長

り組んでいる。また、近畿を中心に10を超える自治体や組合、企業と連携を結んでいるが、今後も連携を進め大学の発展に努力していきたい」と述べた。

日根直人議長が体調不良で欠席のため、山田拓幸副議長が議長を務め議案の審議に入った。第1号議案「平成22年度事業報告（案）」についてと第2号議案「平成22年度収支決算（案）及び貸借対照表並びに財産目録について」は一括上程され、北嶋弘一総務部長と植田芳光財務部長が提案説明、収支決算

これは通常の経理処理ではないとの判断から、今回補正予算を組むこととした。次年度からは予算審議の時に、繰越金が確定したらそれに合わせた予算とするとの付帯決議をいただいて運用していきたい」と説明。異議なく可決承認した。

大谷啓二副会長の閉会挨拶で代議員会を終了。休憩の後、有志による恒例の懇親パーティーが行われ、小寺一矢副会長の挨拶、池内啓三専務理事の発声で乾杯し開宴。約1時間にわたり懇親を深めた。

公務出張の楠見晴重学長に代わり、廣瀬幹好副学長が挨拶。廣瀬副学長は、レスリング部学生の不祥事を託び、「今後こういう事が起こらないよう大学一丸となって努力している」と理解を求めた。次いで教育の内容につき「2008年から教育推進、研究推進、社会連携、国際の4部を作り推進している。学生の教育力、研究力をあげるよう改革や努力を進めている。私の担当する社会連携では、大阪にある大学として天神橋筋商店連合会、さらに北区と連携協定を結び、大阪における存在感の強化や地域の発展に取

り組んでいる。また、近畿を中心に10を超える自治体や組合、企業と連携を結んでいるが、今後も連携を進め大学の発展に努力していきたい」と述べた。





YKK AP株式会社

大阪府大阪市中央区谷町4-8-7

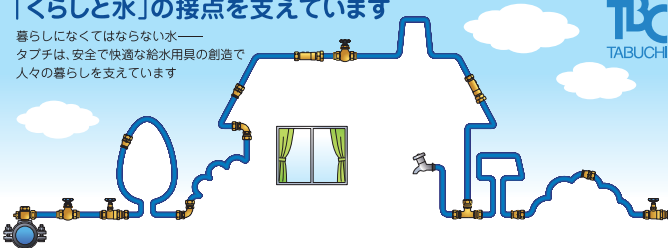
ビル建材第一事業部 大阪支店

TEL 06-6947-4141

www.ykkap.co.jp

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています



給水用具の設計・開発・製造

株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区山崎南2丁目1番56号

TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210

http://www.tabuchi.co.jp/

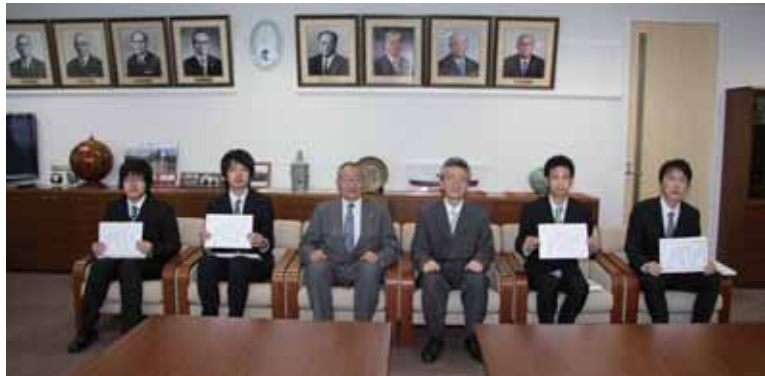
校友会の奨学生証を授与

専門職大学院生・学部生38人に

平成23年度校友会給付育英奨学金の奨学生証授与式が、楠見晴重学長はじめ、吾妻重二文学部長、林宏昭経済学部長、木下智史法務研究科長、笹倉淳史学生センター所長など大学関係者と、寺内俊太郎校友会長、副会長・部長ら校友会役員が出席して5月26日に校友・父母会館の校友会会議室で執り行われた。

本年度の給付奨学生は、法

務研究科4人、会計研究科10人、学部学生24人の計38人。寺内校友会長は、「皆さんは、これまでの努力の証として校友会の給付育英奨学生に選ばれました。今後も各分野で研鑽を積み、母校の名誉を高めるとともに、国難ともいえる事態のなか、社会で活躍できる人材になっていただきたい」と挨拶。一人ひとりに声をかけながら「奨学生証」



を授与した。

楠見学長からは、校友会に対する謝辞と、「皆さんには40万校友の支えがあることを忘れないでほしい。そして、世界におけるアジアにおける日本の立場をも意識して、グローバルな目的意識を持って活

躍してください」と励ましの言葉が贈られた。奨学生を代表して会計専門職大学院生の村尾伸之君が、「これを励みに一層勉学に励み、公認会計士試験に合格するよう頑張ります」とお礼の言葉を述べ、閉会した。

校友が拓くイノベーションを目指して

「面」の接触から「空間」の連携の試み

校友会連携プロデューサー 田中 久仁雄

『総力結集、創意工夫、熟慮実行』に基づいて、イノベーションを目指した校友で構成する企業ネットワークを構築し、連携をかたちに社会への貢献度を高めることによって大学の価値とブランドの向上を図ります。

イノベーションとは、新しい社会的価値の創造のことです。

大学が創造した知を社会に広く紹介し、企業が経済的価値実現に活用する。これが産学連携です。しかし現在はまだ産と学が「面」でしか接していません。ではいかにすれば両者がさらに深化し、うまく協力し合えるでしょうか。それには「面」の接触ではなく3

次元「空間」をつくらなければなりません。大異を認め合いながら小同において協力する新しい連携のスタイルです。

この「空間」のひとつとして温故知新をインセンティブに校友が熱く語り、共通の認識を醸成する場が担えると考えます。目的、価値観が違うことを認め合い、そのうえで協力しようという相互補完型連携から創造型連携を実現するため、校友のより広い範囲の共鳴者を加え、持続的組織として企業ネットワークを構築します。

企業ネットワークを構築するために、取り組むべき課題は、

① 環境づくりとカルチャーづくり

② 交流の展開

③ コンセンサスづくりの3つです。

イノベーションは、熱心な人たちが構成する多様で小規模なグループの中で開花すると言われています。

具体的には、まず、製造業の企業ネットワークの構築を始めます。世界経済成長のパラダイムが変わり、今、日本におけるものづくりのあり方が問われています。より高い質が求められているものづくりについて、新しい概念に基づいた企業ネットワークを構築し、連携を促進します。

連携プロデューサーとして、現場、現物、現実を見据え、考えて、ホスピタリティの心でコミュニケーションとネットワークキングを重ね、校友の意識改革、行動改革を促しモチベーションを高める活動を実践したいと考えています。

本事業計画の取り組みは3年間とします。初年度(2021年度)は、企業調査、企業データベース化、第2年度は、基本施策の設定、企業ネットワークキング、第3年度は連携の最適化、イノベーションモデルの提案を考えています。

第27回支部対抗親睦ゴルフ大会を開催 東大阪支部が9年ぶり3回目の団体優勝

校友会の第27回支部対抗親睦ゴルフ大会が、5月24日に大阪府堺市の天野山カントリークラブで開催され、49支部209人が日頃鍛えた自慢の腕を競い、プレーを通じてお互いの親睦を深めた。

27回を数えるこの大会が南河内地区のゴルフ場で開催されるのは初めて。ゴルフ場ロビーで受付を済ませた参加者は、「東日本大震災義援金」募金にも笑顔で応え、午前7時45分、雨の降るあいにくの天気の中、東・南・西・北の4カ所から最初の組が同時にスタート。しばらくすると雨も

止み、参加者は新緑の映える雄大なコースで次々と熱戦を繰り広げた。また、初の試みとして各スタートコースの最後のショートホールでは「東日本大震災チャリティ・ワンオンチャレンジ」が行われ、めでたくワンオンに成功した35人には、役員提供の記念のゴルフボール3個セットが進呈された。

最終組がホールアウトした午後4時過ぎからクラブハウスのレストランで懇親会と成績発表・表彰式が行われた。東日本大震災での犠牲者に黙祷を捧げ、大会実行委員長の

○競技成績○

団体戦 (校友会会長杯)	NET合計
優勝 東大阪 岩崎・大島・高岡・辻	291.6
準優勝 大阪狭山 楠・田頭・岡田・島尾	293.6
第3位 箕面 和田・石井・和田・細川	297.2
第4位 城東 久家・中野・米倉・稲盛	297.4
第5位 堺 長嶺・古淵・中野・中西	297.4

個人戦 (理事長杯)						
順位	プレーヤー名	支 部	GROSS	HDCP	NET	
優 勝	小野 昭夫	宝 塚	94	25.2	68.6	
準優勝	久家 俊彰	城 東	83	12.0	71.0	
第3位	牧 太郎	奈 良	94	22.8	71.2	
第4位	岩崎 英夫	東大阪	81	9.6	71.4	
第5位	和田 浩一	箕 面	80	8.4	71.6	
第6位	大島 忠雄	東大阪	86	14.4	71.6	
第7位	北野 博昭	平 野	84	12.0	72.0	
第8位	森岡 修司	尼 崎	83	10.8	72.2	
第9位	加納 靖夫	八 尾	82	9.6	72.4	
第10位	森本 成信	豊 中	82	9.6	72.4	

ベストグロ	東←→南	西←→北
楠 昭義	大阪狭山	80
和田 浩一	箕面	80

伊藤晃充事業部長の挨拶のあと学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会長と上原洋允理事長から「伝統あるこの大会に、多くの皆さんに参加いただき感謝している。この校友の力を大学、校友会のため、さらに日本復興のために発揮していただきたい」旨の挨拶があり、池内啓三専務理事の音頭で乾杯、懇親会が始まった。

表彰式に移り、団体戦（4人以上の有資格支部26支部）では、平成4年の第8回大会、14年の第18回大会に続いて3回目の優勝を飾った東大阪支部に寺内会長から校友会長杯と副賞が授与され、5位まで入賞の各支部に賞品が贈られた。個人戦では、宝塚支

部の小野昭夫氏（昭40学文）が優勝の栄冠を手にし、上原理事長から理事長杯と副賞が渡された。個人戦では10位までと10位単位の飛賞が用意され、名前が発表されるたびに会場は大きな拍手に包まれ、入賞者は賞品を受け取ると募金にも快く応じていた。

なお、当日の募金額は16万2千円だった。



制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京営業所 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

♡♡♡ 良縁お世話致します ♡♡♡

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624

ホームページ <http://www.bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子



経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員

Bridal
NAKANO

東日本大震災に関する関西大学の主な対応について②

(ホームページ掲載記事を中心に)

「震災義援金」第1回目を日本赤十字社に寄付 秋学期以降の被災学生、受験生の支援策を発表

本紙第563号(平成23年5月15日付発行)掲載以降の「東日本大震災に関する関西大学の主な対応については、次のとおりです。

4月26日(火)ボランティアセンター第3回「いま、私たちにできること」を考える「ミーティング開催 東日本大震災被災者支援について息の長い支援活動を考えて行動している「関西大学ボランティアセンター」では、募金活動のほか、震災直後から定期的に「ミーティングを開催しており、第3回ミーティングでは、

国際部の澤山利広准教授から、パワーポイントを使いながら被災地における救援活動の視察報告が行われた。全学部から学生の参加があり、教職員も含め40人の参加者があった。

講師からの「まず、学ぶことが大切である」との説明のあと、ボランティアセンター「学生スタッフから、『人と防災未来センター』での勉強会参加の呼びかけが行われた。

また、5月16日開催の第4回ミーティングでは、実際に災害ボランティアをした学生から、現地の状況報告を聞き、社会安全学部の中村准教授・菅准教授から、学部としての取り組みや、現地での活動について参加学生に「被災地では、日々状況が変化している」「ボランティアは、

自己満足のための支援を行ってはいけない」と心構えを説明してもらった。

6月6日の第5回目では、被災地ボランティア活動に参加した本学学生による報告及びボランティアセンター職員による被災地視察報告会を行った。

6月27日の第6回ミーティングでは、学生スタッフが行った「人と防災未来センター見学会」及び社会安全学部学生が参加している「勉机プロジェクト」参加報告などを行い、今後の支援について話し合った。

4月29日(金)社会安全学部学生が被災地に送る勉強機の再生作業のボランティアに参加 社会安全学部の学生と社会安全研究科の院生の41人が、高槻市内にある港製器工業(株)で、「勉机プロジェクト」による勉強機の再生作業のボランティアを行った。

「勉机プロジェクト」は、全国の廃校などに残されている勉強機やイスを新品同様に再生し、東日本大震災で被災した学校へ送るもので、NPO法人子ども育成支援協会が発案し、文部科学省からもこれを後押しする通達が出されている。ボランティア参加の申込みは80人を超え、29日の第1回作業日には41人が参加し、合計103台の机とイスの再生作業を行った。



被災地に駆けつけることは出来なくても、とにかく出来ることを「今」していききたい! そんな熱い思いが込められ、ピカピカに再生された机とイスは、メッセージを添えて、現地に届けられる。

なお、この活動は今後も続けられる。

4月29日(金)～5月5日(木)商学部長谷川ゼミの学生と卒業生が石巻市でボランティア活動を実施 長谷川ゼミの学生4人と卒業生4人の計8人が、4月29日から5月5日までの7日間に、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市で、33人日規模のボランティア活動を行った。

石巻市立渡波小学校を拠点に被災地支援を行っている財務省東北財務局の佐



藤稔氏に受け入れてもらったもので、メンバーはレンタカーや新幹線で現地に向かい、石巻専修大学のグラウンドでのテント生活をしながら、避難所内の泥かさや瓦礫撤去、お好み焼き1000人分などの炊き出し、被災者のためのイベントの準備・運営を行った。

メンバーはこうした活動をしたが、被災地の惨状を見つめ、被災された方々からの声に耳を傾けてきた。

「このたびの大震災は、我が国に計り知れない被害をもたらしました。私たち関大人は、この苦難を自らのことと捉え、できる限りの支援をいたします。私たちは、被災者の皆様とともにこの苦難を乗り越えるため、未来に向けて努力を尽くすことを誓います」との、3月の楠見学長のコメントに添えて、国際協力・国際ボランティアを学ぶ長谷川ゼミとして今後も被災地支援を続けていく決意とのこと。

5月10日(火)東日本大震災に係る「関西大学震災義援金」第1回目を日本赤十字社に送金 関西大学では、一般被災者に対し日本赤十字社を通じて被災地の救援活動や復興支援活動のための「関西大学震災義援金」、関西大学の被災学生に対し修学支援のための「関西大学災害特別義援金」の2つの募金を

3月18日からウェブサイトなどで呼びかけ募集してきた。また、外郭団体の校友会や教育後援会にも協力を依頼してきた。

これ以外に、ボランティアセンターでは、学生が主体となって募金箱による募金活動を行っており、生活協同組合も募金箱による募金活動を行っている。

4月末までに集まった「関西大学震災義援金」670万927円を第1回目分として、5月10日に日本赤十字社へ送金し、5月20日に日本赤十字社大阪府支部にその目録を渡した。（別稿「義援金への協力感謝いたします」参照）

5月24日（火）社会学部大西ゼミ、商学部長谷川ゼミの学生が「被災地に野菜を送ろうプロジェクト」に参加

兵庫県加古郡播磨町にある兵神ファームで実施された「被災地に野菜を送ろうプロジェクト」に、社会学部大西ゼミ生32人と商学部長谷川ゼミの学生3人が参加し、水耕栽培された段ボール箱80個分の小松菜・水菜・ほうれん草の収穫

下葉処理、計量、袋詰め、箱詰め作業を行った。



兵神ファームは、兵神機械工業（株）が社会・環境活動の一環として行っている事業のひとつで、同社の友藤社長が、かつて自らの阪神淡路大震災の経験から、社会貢献したいという思いで始まった兵神機械工

業と大西ゼミのプロジェクト。

参加した学生は、「被災地に行なくても被災者のためにできることがある」と思い、このボランティアに参加した。

作業は大変でしたが、少しでも被災者の力になりたいと頑張りました」と話していた。

5月26日（木）東日本大震災（福島第一原子力発電所事故を含む）における平成23年度秋学期の経済的支援を発表

今回の震災における被災学生への経済的支援については、①平成23年度春学期授業料等減免措置要項、②東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震による被災に伴う授業料等減免の特別措置について、③修学支援助成金・植田特別奨学金特別措置要項、④福島第一原子力発電所事故特別措置要項、⑤東日本大震災（福島第一原子力発電所事故を含む）における被災学生への経済的支援について、の要項等を定め、23年度春学期の経済的支援を措置しているが、これに加えて秋学期も措置することを決定し、発表した。

なお、被災した受験生についても同内容の経済的支援を行うこともあわせて発表した。

6月2日（木）学長と被災学生との懇談会を開催

千里山キャンパスで6月2日、楠見晴重学長および黒田勇剛学長と本学被災学生（全壊（福島原発含む）、半壊対象者10人のうち全壊対象者3人と半壊対象者3人の6人）との懇談会を開催した。

懇談会では、学生から被災状況や現在の学修状況、就職活動状況などについての報告があり、楠見学長および黒



田副学長からは、今後の継続的な支援に関する説明を行うとともに、それぞれの目標に向けて努力を続けている学生に対して励ましの言葉をかけた。

6月22日（水）「関西大学災害特別義援金」および「関西大学震災義援金」の募集期間延長を発表

本学の被災学生を支援するため、5月31日まで「関西大学災害特別義援金」を募っていたが、9月30日まで延長することを発表した。応募には、「関西大学災害特別義援金」専用振込用紙での振込みをお願いしており、専用振込用紙が手元にならない場合は、資金課（電話06-6368-1137）まで連絡を。

この義援金は、恒常的募金である「学の実化促進募金」として受入れることにより、免税措置すなわち寄付金控除の対象となる。

また、東日本大震災で被災した一般の方々を支援するため、6月30日まで

募っていた「関西大学震災義援金」についても募集期間を9月30日まで延長し、引き続き復興への支援を行うこととした。「関西大学震災義援金」受入口座は、次の銀行4口座のいずれかの利用をお願いしている。りそな銀行・天六支店 普通0082522、三井住友銀行・天六支店 普通6937437、三菱東京UFJ銀行・豊中駅前支店 普通0016328、みずほ銀行・梅田支店 普通1354549。

この義援金は、日本赤十字社が発行する受領証をもって確定申告すると寄付金控除が受けられる。問い合わせは資金課まで。

6月30日（木）「本学の被災学生に対する経済的支援について」発表 福島第一原子力発電所事故を含む「東日本大震災」による関西大学の被災学生に対する経済的支援として、春学期は授業料などの減免、修学支援助成金および植田特別奨励金の給付などを行ったが、「関西大学災害特別義援金」を財源としている「修学支援助成金」の明細を発表した。

具体的には、全壊対象者5人に対して各36万円、半壊対象者7人に対して各24万円、一部損壊対象者31人に対して各12万円を給付。これに加えて全壊、半壊対象者12人に対して各24万円、一部損壊対象者31人に対して各6万円を植田特別奨励金から給付した。

春学期のみならず、秋学期についても、引き続き授業料の減免、修学支援助成金および植田特別奨励金の給付を行う。

（掲載写真は「関西大学ホームページ」より転載）

義援金へのご協力感謝いたします。

のご協力のお願い記事を掲載して、ご協力をお願いいたしました。

その趣旨にご賛同いただき皆様からお寄せいただきましたご厚志は、6月28日現在、30,392,002円となりました。皆様の温かいご協力・ご支援に深く感謝いたします。

本学におきましては、福島第一原子力発電所事故を含む「東日本大震災」による本学被災学生に対する経済的支援として、春学期は授業料等の減免、修学支援助成金及び植田特別奨励金の給付など、できる限りの支援を行いました。

この経済的支援のうち修学支援助成金につきましては、皆様からお寄せいただきましたご厚志である「関西大学災害特別義援金」を財源として、本学被災学生に対して手厚い給付を行うことができました。これもひとえに、皆様の温かいご支援の賜物と心より深く感謝し、厚くお礼申し上げます。

皆様の温かいご支援のおかげで、秋学期につきましても春学期と同様の支援、それに加えて平成23年度秋学期及び平成24年度春学期入学希望者の入学検定料の免除などの支援を行うことができるようになりました。

当初、「関西大学災害特別義援金」の募集期間を5月31日までとしておりましたが、9月30日まで延長いたします。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

なお、この義援金は「関西大学災害特別義援金」専用振込用紙でのお振込となりますので、専用振込用紙が手元にない場合は、資金課にご連絡ください。

3. 本学被災学生と学長との懇談会

6月2日に楠見学長及び黒田副学長と本学被災学生（全壊〔福島原発含む〕、半壊対象者10名のうち全壊対象者3名及び半壊対象者3名の6名）との懇談会を学長室において開催いたしました。まず、被災学生の代表から本学の支援に対する感謝の言葉をお聞きし、懇談では被災学生から被災状況



楠見学長（写真中央）と学生のみなさん

などをお聞きして、改めて被害の甚大さを痛感いたしました。被災学生が逆境にも負けず、元気に学業や就職活動にがんばっている姿を拝見し、最後に学長及び副学長から今後も支援を継続するのでがんばってほしいと、被災学生に対して励ましの言葉をかけられました。

4. 寄付金控除について

1の「関西大学震災義援金」は、日本赤十字社が発行する受領証をもって、確定申告していただきますと寄付金控除が受けられます。この義援金にご協力いただいた方で、日本赤十字社からの受領証をご希望される方は、資金課にご連絡いただきますようお願いいたします。

2の「関西大学災害特別義援金」は、恒常的募金である「学の実化促進募金」として受入れることにより、免税措置すなわち寄付金控除の対象となります。この義援金にご協力いただいた方につきましては、本学から送付いたしました本学発行の領収書と特定公益増進法人であることの証明書（写）をもって、確定申告していただきますと寄付金控除が受けられます。

寄付金控除に関する件につきましては、資金課にお問合せください。

【お問合せ先】

学校法人関西大学

財務局資金課 電話06-6368-1137

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**
損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8／吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8／関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421

義援金へのご協力感謝いたします

平成23年3月11日、14時46分、突如襲ったマグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の「東日本大震災」によって、多くの皆様が被災されました。「東日本大震災」から早や4カ月が経過いたしますが、被災された皆様には、まだまだ日々の生活にも困難な状況が続いていることかと存じます。心からお見舞い申し上げますとともに、ご家族の安全と被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本学では、何よりも被災された方々へ速やかに何らかのご支援ができないかという思いに駆られ、3月から被災された一般の方々に対する「関西大学震災義援金」、本学の被災学生に対する「関西大学災害特別義援金」の二つの義援金を募集いたしましたので、ご報告いたします。

1.被災された一般の方々に対する「関西大学震災義援金」

3月18日にホームページ上で、被災された一般の方々に対する「関西大学震災義援金」を広く募りました。この義援金は、日本赤十字社を通じて被災地にお届けし、救援活動や復興支援活動に役立てていただくものです。校友会の皆様から509,174円、校友会台湾支部留学生OB会から994,000円のご厚志をはじめ、皆様からお寄せいただきましたご厚志は6月28日現在、6,800,889円となりました。そのうち4月末までに皆様からお寄せいただきましたご厚志6,700,927円を第1回目として5月10日に日本赤十字社に送金し、5月20日に日本赤十字社大阪府支部にその目録を贈呈いたしました。

また、ボランティアセンターの学生スタッフが、卒業式、入学式などの行事で募金箱による募金活動を行い、集まった義援金1,001,702円を5月20日に日本赤十字社に送金し、同



ボランティアセンター学生スタッフ（写真左）による目録贈呈

日に日本赤十字社大阪府支部にその目録を贈呈いたしました。

皆様の温かいご協力・ご支援に深く感謝いたします。

当初、「関西大学震災義援金」の募集期間につきまして、6月30日までとしておりましたが、9月30日まで延長いたします。一人でも多くの皆様のご協力をお願いいたします。

2.本学被災学生に対する「関西大学災害特別義援金」

本学の理事、監事、顧問、評議員、教職員、本学校友会の代議員、教育後援会・千寿会会員の方々に対して、「義援金呼びかけ文書」をもって、本学被災学生の学業等を支援するため「関西大学災害特別義援金」を募りました。併せて5月15日発行の校友会機関紙「関大第563号」にも義援金



池内啓三専務理事（写真左）による目録贈呈

KANSAI UNIVERSITY
グッズ
For Memory & Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは
関西大学生生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

文科省の23年度私立大学戦略的

研究基盤形成支援事業に2件採択

大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色をいかした研究を実施するため、国がその研究基盤の形成を支援する文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、関西大学から申請した次の2件が採択された。

2件とも支援区分は「研究拠点を形成する研究」で、研究期間は平成23年度～27年度の5年間。

① 研究組織名・アジア文化研究センター、研究代表者（申請

時）・東西学術研究所所長 文学部教授 松浦章、研究プロジェクト・東アジア文化資料のアーカイヴス構築と活用

② 研究組織名・地域再生センター、研究代表者（申請時）・先端科学技術推進機構 地域再生センター長 理工学研究科 教授 江川直樹、集合住宅「団地」の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究

大韓民国・又松大学と 学生等交換協定を締結

関西大学と大韓民国・又松大学は、国際交流計画に関する基本協定ならびに学部・大学院学生交換協定を締結することで合意し、6月6日に協定書の調印式を執り行った。



葛城市と連携協定に 関する協定を締結

この協定は、研究者間交流や学生間交流をはじめ、学術情報ならびに資料の交換、定期刊行物の交換など、両大学における教育・研究を推進することを目的とするもので、これで海外の協定大学は57大学になった。

関西大学と奈良県葛城市は、連携協力に関する協定を締結することで合意し、5月27日に協定書の調印式を行った。



葛城市は、平成22年4月施行の「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者支援地域協議会」が設置された全国でも先進的な初のモデル地区で、臨床心理専門職大学院の石田陽彦教授が、以前より同市でひきこもり対策に関わってきたことが同協議会設置の契機となったことなどを受け、締結する運びとなったもの。

今後も、子ども・若者育成支援の分野を軸にした各種調査・研究および内閣府委託による「子ども・若者育援地域ネットワーク形成のための研修会事業」などで連携を行っていく予定。

なお、自治体との連携協定はこれで12番目となった。

佐治スタジオが

まちづくり功労で 国土交通大臣表彰を受賞

関西大学では、兵庫県丹波

市を舞台に地域と連携を図りながら、「関わり続ける定住のカタチ」と「21世紀の故郷作り」をテーマに農山村におけるまちづくりおよび地域の再生を実践し、関西大学TAF S佐治スタジオを開設しているが、このたび、関西大学TAF S佐治スタジオが国土交通省平成23年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受賞した。

国土交通省では、住民の積

学の実化賞、研究奨励賞等の表彰

— 関西大学科学技術振興会 —

関西大学科学技術振興会（紀和隆会長）は、本学における研究活動を産業界に紹介し、新産業創出など科学技術の発展に寄与すること、なら

れた（所属・資格は申請時の表記）。

に大学と会員企業の発展向上を目的として、会員企業および学内研究員の優れた研究活動の成果や顕著な功績が認められる産学連携活動や知的財産の創造・活用に対する表彰制度を設けている。

第8回目となる「学の実化賞」は、システム理工学部北嶋弘一教授の「DLC膜を滑り面に使用する工作機械用ハイドリッドガイド」に係る実績および産学連携活動への先駆的な取り組みが評価された。「研究奨励賞」は計7件。学

本年度は、5月28日開催の振興会総会において、平成22年度の次の各賞受賞者に対し

活動の支援活動、および成果が評価され、学生14人が受賞した。

て、隅谷哲三前会長（昭39学工金）から表彰が行われ、各々に表彰状と副賞が贈呈さ

また、「産学連携賞」として、化学学生命工学部池田勝彦教授と（株）日本スペリア社（研究者・代表取締役・西村哲郎

氏「昭55学工金」の「スズ・銅・ニッケル系」鉛フリーはんだ「SN100C」に係る実績に対し、産学連携活動の具現化であると評価された。

「技術開発賞」は2件。八田工業(株)の「ワイヤカット機のフィルターの開発」、(株)竹中製作所の「カーボンナノチューブと樹脂の高強度複合塗料膜『ナノテクト』」の技術開発に係る実績が優れた成果であると評価された。

表彰された各位に対して、今後ますますの研究・技術開発での活躍と発展をお祈りしたい。

なお、表彰に先立つ振興会総会において、会則の一部改正と役員改選が行われ、2年

間会長を務められた隅谷哲三氏が相談役(新役職)に就任、新会長に紀和隆氏(昭39学工機、(株)紀和マシナリー代表取締役会長)と、新副会長に北垣壽氏(昭53学工金、大阪冶金興業(株)常務取締役)を選出した。

(先端科学技術推進機構)

先端科学技術推進機構の研究業績に高い評価

先端科学技術推進機構では、研究員(教員)が最先端の科学技術研究を推進しており、その業績に対し、学外から高い評価を受けた。

まず、情報技術、情報科学に関する研究で顕著な功績のあった者を褒賞する第10回船井情報科学振興財団「船井学術賞」において、システム理工学部電気電子情報工学科・四方博之准教授が「無線通信システムにおけるクロスレイヤ最適化に関する研究業績」で受賞。また、システム理工学部機械工学科 谷 弘詞教授、多川則男教授は「直接フッ素化技術を用いた磁気ディスク用新規潤滑剤」で、その業績の獨創性、新規性、さらにそのトライボロジー性能に對して、2010年度日本トライボロジー学会技術賞を受

賞した。

さらに、1988年(2009年の全論文誌3348件、国際的な主要論文誌2153件を対象とした「2010年度電気化学キャパシタ論文発表件数ランキング」(特許庁)において、研究者別では化学学生命工学部化学・物質工学科の石川正司教授が第1位、研究員所属機関別では関西大学が第1位と、この分野

河内刀匠が故末永雅雄名誉教授 遺愛の刀を大学に寄贈

本学の校友で、日本における刀剣づくりの第一人者である河内國平刀匠(昭41学法)が自ら鍛錬し、故末永雅雄名誉教授に贈呈した刀剣が6月14日、関西大学に寄贈された。今回寄せられた刀剣は、河内刀匠が学生時代に恩師と慕った古武器の研究者・末永雅雄名誉教授が、平成元年に文化勲章を受章されたのを祝して製作されたもの。刀身の茎(なかご)には、片面に「贈恩師 末永雅雄先生 國平製之」、もう片面には「寿文化勲章 平成元年春惜月」と刻まれている。平成3年に末永名誉教授が亡くなったからは河内刀匠のもとで保管されて

での関西大学での研究が高く評価されていることが証明された。

先端科学技術推進機構では、研究成果と企業ニーズとをマッチングさせることにより、産学官での共同研究をより一層積極的に行い、連携を深め、さらなる研究活動を促進したい。

(先端科学技術推進機構)



河内刀匠は、本学卒業後、重要無形文化財保持者(人間国宝)である宮入平師に師事。昭和47年に独立し、奈良県の東吉野村に鍛刀場を構え、以来40年にわたって日本

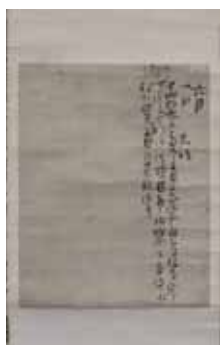
刀の鍛錬に励んできた。昨春秋の校友総会では「日本刀の魅力とその伝承」と題して記念講演を行うとともに、自身の作品16振りを展示したことも記憶に新しい。

受贈にあたって上原洋允理事長は「末永先生のために丹精込められた作品が大学へ寄贈されたということに深い縁を感じる」と語り、河内刀匠も「先生が亡くなったあと、長らく私の手元にあったが、大学で預かっていただけたのが一番よい形だろうと考えた」と寄贈に至った気持ちを述べた。

末永先生ゆかりの刀は関西大学博物館で保存され、今後、展示や教育・研究に利用される。(博物館事務局)

藤原定家「明月記」の断簡 元職員田尾氏の遺族が寄贈

鎌倉時代の歌人藤原定家の日記『明月記』の自筆原本の一部である断簡が、4月26日に元職員の故田尾馴次氏(昭28学法)夫人の純子さんから大学に寄贈された。貴重な資





料の寄贈に対し、上原洋允理事長から感謝状が贈呈された。この断簡は、田尾氏がかつて父親遺愛の古書画を整理中に見つけたもので、鑑定の結果、『明月記』の建仁元年6

月1日の条の3行で、転写本としても知られていなかった新出の資料と分かり注目されたもの。今後は総合図書館に所蔵される。

新緑の千里山キャンパスで

教育後援会総会ひらく

好晴に恵まれた5月15日の日曜日、平成23年度教育後援会総会が千里山中央体育館で開催された。今年は東体育館も使用し、総会の模様をモニターでご覧いただいた。当日は、北は北海道から南は沖縄

県まで、5512人の父母または保護者の出席があった。総会は、東日本大震災での犠牲者に黙祷を捧げたのち、午前10時に開会。司会を森岡和衛総務委員長が務め、藤岡幸男副会長の開会挨拶に続き、水本徹会長が挨拶を述べ、会長を議長に議事に入った。

議事は、富井隆司財務委員長から平成22年度事業決算報告が、藤村徹・中野亘両監事から監査報告が行われ、満場の拍手をもって承認された。続いて平成23年度会長と監事の選出に移り、会長には山脇雅則氏、監事には森岡修司氏と石崎守紀氏の就任が決まった。

また、新委員の委嘱については、山脇会長に一任することで承認された。

このあと、来賓の楠見晴重学長、上原洋允理事長からそれぞれ挨拶があり、坂口充人副会長の閉会の辞をもって総会は終了した。

そして、応援団リーダー部、バトン・チアリーダー部、文化会グリークラブの演奏が総会に花を添えた。

総会終了後は、プラカードを先頭に学部別教育懇談会会場に移動し、総合懇談会から個人面談まで、先生とご父母または保護者の間で中身の濃い懇談の時間がもたれた。関西大学会館南棟1階に設けられた相談コーナーには、就職、大学院進学、海外留学、奨学金等の専門スタッフがきめ細やかな応対をした。

総合図書館、博物館、年史資料展示室ほか体育施設も開放され、多くの見学者でにぎわった。日頃は青春を謳歌するキャンパスが、この日は充実した「父母の一日大学」の場となった。

(教育後援会・森田)

関大一中の東野教諭が 南極観測隊夏隊同行者に

情報・システム研究機構国立極地研究所が募集した「教員南極派遣プログラム」に応募していた関西大学第一中学校の東野智瑞子教諭が、11月に日本を出発する第53次日本南極地域観測隊夏隊の同行者として決定したことが6月16日に同研究所から発表された。



このプログラムは、極地の科学に興味を持つ現職の教員を南極昭和基地に派遣し、現地から衛星回線によるTV会議システムを利用して、派遣教員が企画する「南極授業」を行うもので、同研究所が文部科学省と連携して実施する。

派遣教員は2名。東野教諭の南極地域への派遣期間は、11月25日から24年3月19日(予定)まで。同教諭は「昭和基地でのさまざまな観測についてリポートし、地球環境の現状やこれからのゆくえについて考えられることを伝えていきたいです。そして、普段の日本での生活からは想像しにくい、太陽の沈まない日々や昭和基地での実生活の様子についてもリポートし、多くの人達に、南極に対する興味関心を持ってもらえるような授業を実現させたいです」と抱負を語っている。

第34回総合関関戦

3連敗喫し通算成績16勝17敗に

スポーツの総合対校戦として全国でも有数の歴史を持つ第34回総合関関戦が、「勝動」をスローガンに6月16日から18日まで、関西学院大学上ヶ原キャンパスをメイン会場に開催された。

連敗を喫し、雪辱に燃える関大は、6月8日には千里山キャンパス・悠久の庭で壮行会を開催。集合した体育会各部の選手を前に楠見晴重学長は、「通算16勝16敗の五分



の成績。今年は敵地での開催ではあるが、練習の成果を十分に発揮して勝利してもらいたい」と激励の言葉を贈った。

しかし、前哨戦で4勝8敗と大きく出遅れた関大は、本戦1日目は0勝3敗、2日目も2勝3敗と負け越し、最終日によりやく7勝4敗と勝ち越したものの、最終13勝18敗で、昨年に続き大差で敗れた。学生サービス事務局では、高槻キャンパスのアイスアリーナで行われたアイスホッケーや本戦最終日には関学キャンパスへの「関関戦応援バス」を出すなどの応援体制を敷き、一般学生やOBからも懸命の応援をおくったが、及ばなかった。通算成績も16勝17敗と初めて負け越した。

なお、最終日午前中には大島鎌吉記念第32回健康マラソ



ン大会が、関西学院時計台前をスタート・ゴールとする甲山森林公園特設コースで行わ

れ、両校学生やOB、一般市民など約300人が声援を受けながら快走した。

速記部が全日本で46連覇達成 A～D4つの級で1位を独占

6月19日に行われた第100回全日本大学速記競技大会において、関西大学文化会速記部が優勝し、46連覇を成し遂げました。試合は、1分間に290文字のスピードを要求されるA級から、140文字のF級までの6つに分けて行われます。そのうちのA級からD級まで、4つの級の首位を関西大学が独占し、その他にも5人の入賞者が出たことにより、他大学の追従を許さぬ圧倒的な勝利となりました。

これらもひとえに、選手たちの努力、ならびに指導者のサポートによる賜物です。どちらが欠けても、決して勝利には繋がらなかったことだと思っています。

何といっても今回は100回という節目の大会でした。万一にも連覇が途切れてしまったらどうしようと、不安を覚えていた部員も少なくありません。とはいえ、試合は待ったなしの一回勝負。そのような感情は足枷



(主将 古山尋基)

重量挙げ部の白草が 男子77kg級で優勝

5月13～15日に羽曳野市・はびきのコロシアムで行われた第57回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会で、重量挙げ部の白草竜太(文4)が、スナッチ135kg、ジャークでは自己記録より2kg重い170kgを挙げ優勝した。

また、同時に行われた第23回全日本女子学生選手権大会では、69kg級で今永幸乃(文4)が2位、53kg級で中井美保(文4)が3位に入賞した。さらに、白草竜太は、6月24～26日に埼玉県さいたま市記念総合体育館で行われた第71回全日本ウエイトリフティング選手権大会男子77kg級でも優勝を飾った。



重量挙げ部の白草竜太が 第26回ユニバ日本代表に

重量挙げ部の白草竜太(文4)が、8月12～22日に中国・深圳で行われる2011年第26回ユニバーシアード競技大会の日本代表に決まった。

ヨット部の8人がユニバと Jr世界選手権日本代表に

ヨット部の西山宏美(文3)濱田華帆(文3)組と、原口鈴加(文3)納庄千尋(社3)組が、7月20～28日にオランダ・メデンブリックで行われる2011年470級ジュニア世界選手権大会の日本代表に決まった。

また、長尾昂(文3)山本健太郎(法3)組と、葛城拓未(環境都市3)沖朱理(法2)組が、8月12～22日に中国・深圳で行われる2011



年第26回ユニバーシアード競技大会の日本代表に決定した。

なお、長尾・山本組は8月1～5日にデンマーク・ラングステッドで行われる2011年スナイプ級ジュニア世界選手権大会の日本代表にもなった。

陸上競技部の伊藤が女子百mHで準優勝

4月29日に広島広域公園陸上競技場で行われた第45回織田幹雄記念国際陸上競技大会女子100mハードルで、陸上競技部の伊藤愛里（社4）は、予選を13秒30の関西学生新記録で突破、決勝でも13秒33で、社会人を含めた有力選手が出場した大会で見事準優勝を飾った。

また、6月10～12日に埼玉県熊谷市熊谷スポーツ文化公



園陸上競技場で行われた第95回日本陸上競技選手権大会女子100mハードルでも銀メダルを獲得した。

伊藤は、今大会等の春の成績により、8月12～22日に中国・深圳で行われる2011年第26回ユニバーシアード競技大会の日本代表に内定した。

陸上競技部の松本が女子走高跳で優勝

6月17～19日に神奈川県平塚市総合公園平塚競技場で行われた2011日本学生陸上競技個人選手権大会女子走高跳で、陸上競技部の松本真由子（社4）が優勝を飾った。



射撃部が全関西で3年ぶり男女団体優勝

5月13～15日に能勢町ライフル射撃場で行われた第58回

漕艇部・黒津前監督退任記念感謝会

ボート協会『Rowing』に掲載

30年間に亘り体育会漕艇部の監督を務め、昨シーズンを退任した黒津忠夫氏（昭39学文）の退任記念感謝会の模様や業績が、（社）日本ボート協会発行の『Rowing』第504号（2011・4・5発行）に掲載された。（以下同誌より転載）

30年間にわたる指導に感謝

関西大ボート部に30年間、指導にあたってこられた黒津忠夫監督が昨シーズンををもって退任されました。国内では金沢大・高木重知監督（1962～2010年、一橋大OB）、日本大・水内正孝監督（1972～2009年）に次ぐ期間です。この功績をたたえ、2月19日（土）に大阪市西区の徐園で



「退任記念感謝会」を開きました。当日は現役やOBなど約150人が参加し、黒津さんへ感謝の想いを伝えました。

黒津さんは1980（昭和55）年、監督に就任しました。4年目に朝日レガッタ準優勝を果たし、以降、我が部を関西選手権競漕大会の上位常連に育て上げました。

その一方でOB会「紫紺会」を整備拡大し、また現役保護者会「千里会」と千里会OB組織「神崎会」を立ち上げました。さらに1992（平成4）年、韓国・高麗大ボート部と姉妹提携を結び、相互遠征を行うなど、現ボート部の運営土台を築き、今日まで408人の選手を送り出してきました。

記念感謝会で黒津さんは「関西大ボート部の一員であることにプライドを持つ、学業と両立させる、価値ある社会人となる基礎をつくる、自主性と協調性を尊重する。以上を信条として指導に当たった」とあいさつしました。

紫紺会・木本八三郎会長は



「黒津さんの指導力なしには現在の関西大ボート部は存在しない」とし、黒津さんに記念品を贈呈しました。また「黒津さんのお陰で今の自分がある」といった教え子からの感謝の言葉が続きました。

関西大ボート部は1923（大正12）年に創部しました。部員は大学で初めてボートに触れた者が中心で、最盛期には100人を超える大所帯でした。しかし近年は部員確保に苦戦し、現在は男女合わせて19人が活動しています。

私たちは黒津さんの信条を守り、これからも邁進していきたいと思います。

（関西大ボート部監督 北浦 意

関西大学校友会の皆様へ

楽天グループの
オーネットです。

信頼の結婚情報サービスは



♥ オーネット 特別プラン ♠

入会時お支払い金額

入会金+活動初期費用

99,800円

通常入会より1万円お得!

+

会費(月額)

あんしんの定額制

13,965円

成婚料はいただきません。

基本サービス

- ◆ パートナー候補を定期的にご紹介
- ◆ 月刊会員誌に自己紹介を掲載
- ◆ 担当アドバイザーがバックアップ

さらに

人気オプション付

プロフィール&写真検索

提携写真館での撮影など

お問い合わせ・資料請求

フリーコール AM 10:00~PM 6:00

0120-13-5029

ホームページ <http://onet.jp>



株式会社

オーネット

10 0002 (01)

MISA

結婚相手紹介サービス協会会員

あなたの個人情報厳守します。

1014000001

春季全関西学生ライフル射撃選手権大会・第17回春季全関西女子学生ライフル射撃選手権大会で、射撃部が3年ぶりに男女総合団体アベック優勝を果たした。女子は圧倒的な強さで3連覇を達成。男子は昨年秋季の全日本学生ライフル射撃選手権大会で団体5位に入賞した自信と努力が身を結び、優勝を手にした。



女子は、50m3×20Wで松本靖世(文3)が優勝するなど関西学連タイ記録、10mS40Wでも掘抜くるみ(社4)が優勝するなど好成績をおさめ学連記録を更新し、総合計2871点で総合優勝した。男子は、田邊伊織(化学生命3)が個人優勝した10mS60Mと50m3×40Mで優勝、50mP60Mで2位となり、総合計6803点で総合優勝を果たした。

射撃部は、今年も秋の全日本学生に優勝することを目標に頑張っています。

(OB会長 女川 隆)

剣道部の中間が 36年ぶり関西優勝

5月15日に大阪市の舞洲アリーナで行われた第59回関西

空手道部女子が 形・組手で関西V

4月29日に兵庫県立総合体

学生剣道選手権大会で、初出場の剣道部・中間博之(社2)が、計7試合、1本もとられず完全優勝を飾り、参加212選手の頂点に立った。関大勢では36年ぶりの快挙。



柔道部女子が 関西で団体初V

育館で行われた第45回関西学生空手道個人選手権大会で、女子形では、梶川凛美(文4)が昨年準優勝の悔しさを力に変え、王座を奪還。組手-61kg級では、加藤智弘(文4)が武器である右手の負傷をおして連覇を果たした。

5月15日にベイコム総合体育館で行われた第19回関西学生女子柔道優勝大会で、柔道部の女子は、念願の団体初優勝を飾った。

過去5年、決勝戦に進出しながら涙をのんできた関大は、今年も決勝に進出。4連覇を目指す同大と対戦し、最後の代表戦を勝利し2-1で勝った。

弓道部の谷口 府大会個人でV

5月15日に行われた第44回大阪府学生弓道選手権大会個人の部で、弓道部の谷口雄樹(環境都市工4)が優勝を飾った。谷口は、5月22日に行われた第55回関西学生弓道選手権大会個人の部でも準優勝



関西大学の就職状況について

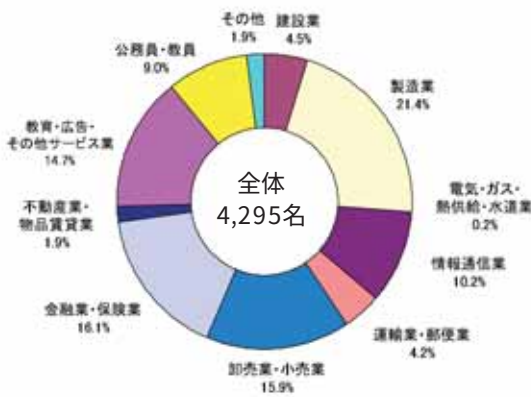
キャリアセンター所長 亀田 健二



1 平成22年度の関西大学の就職状況について

平成22年度の雇用環境は、平成20年9月に発生したリーマンショックに端を発した「100年に一度」とまで言われる世界的な経済不況による景気の低迷が続いたことから、厳しい就職環境であったが、本学学生の就職率は、94・3%で前年度より僅かながら0・7ポイント上昇する結果となった。

平成22年度 業種別就職状況



平成22年度 規模別就職状況



※企業規模は従業員数により、以下のとおり区分する。
 巨大企業＝従業員数3,000人以上 大企業＝従業員数2,900人～500人
 中企業＝従業員数499人～100人 小企業＝99人以下
 ※「規模別就職状況」には、公務員・教員(385名)は含まない。

た。

このような就職環境の中でも、本学が9割の就職率を維持できている要因の一つとして、企業研究会(平成22年2月開催)、合同企業研究会(平成22年2月、5月、6月、9月、12月開催)の開催などがあげられる。延べ1370社の企業を本学に招く関西大学ならではの、大きな規模の行事である。学生にとっては企業研究の一助になるとともに、これらの企業研究会

2 平成23年度の就職状況(中間報告)について

平成23年度の就職環境だが、各新聞社やリクルートワークス研究所等が実施した当初の動向調査によると、新興国での事業拡大やスマートフォンの代表とする新しいマーケットの拡充が期待されたことから、景気や企業業績の回復で大企業を中心に持ち直し、全体として採用数を幾分増やす傾向があるのではないかと報じられていた。

等での出会いから内定を得るケースも少なからずあった。
 公務員志望の学生に対しては、公務員採用試験説明会を春と秋に実施して公務員試験の受験を奨励するとともに、エクステンション・リードセンターにおいても試験対策講座の充実を図り、平成22年度の公務員への就職者数は前年度より50名上回る312名という結果になった。
 また、教員採用者数も前年度より35名上回る73名という結果となった。

しかしながら、3月11日に発生した、東日本大震災の影響を受けて、これら当初計画を見直さざるを得ない状況となっており、ここにきて採用環境は極めて不透明なものとなった。

震災による生産設備の損壊や原発事故による計画停電等の影響で各社の事業活動は停滞を余儀なくされており、さらには復興事業とも相俟って各種原材料の調達に円滑に進まないなどの実態があり、業績が大きく下振れる可能性もある見込みである。

このことから新規採用計画について慎重な姿勢をとることが予見されることから、各業界の動向から目を離せない現状である。

なお、5月下旬にリクルートワークス研究所が発表した大卒求人倍率調査結果では、1・23倍と昨年同時期の1・28倍よりわずかに0・05ポイント下降したことが伝えられている。特に中小企業での減少が継続しており、大企業に比べ業績回復が遅れていることもうかがえる。その後、6月20日付の日本経済新聞では、来春の採用人数は、製造業・非製造業ともに8割の業種で増える動きがあると報じている。

さて、学生の活動状況としては、1月末頃から企業のセミナーに参加し始め、中には面接を受ける学生も現れた。しかし、その後、震災の影響により、採用活動を一旦停止する企業や

大手金融を中心に5月以降開始、総合商社や大手製造業を中心に6月以降開始といったように、業界や企業によってその対応がばらばらである。震災に直接的な影響のない関西や西日本に基盤を置く企業では例年通り採用活動を実施しており、全国区の大手企業を中心に採用活動の変更が行われていることから、何処に軸足を置いて活動すべきか学生たちは戸惑いを見せていた。

ところで、現在の学部4年次・修士2年次生に対して、本学では、各種ガイダンスに加えて、例年、実際に企業の人事採用担当者をキャンパスに招いて就職活動支援行事を展開している。本年も2月1日から2月末にかけてのべ591社（単独形式13社、合同形式578社）の企業を招き学内企業研究会を実施した。単独形式の企業研究会には延べ633人、合同形式の企業研究会には延べ7474人の参加者があった。

しかし、特に倫理憲章に協賛していない企業を中心に、採用活動の早期化がさらに進んでおり、早々と採用を前提とした説明会やセミナーを実施し、2月頃から盛んに選考を開始するケースが増えているため、2、3年前と比較すると学内セミナーの参加者数は減少傾向にある。

このように、雇用環境が依然厳しい状況と東日本大震災の影響で企業の

選考が後ろ倒しになっている状況で、複数の会社から内々定を得る学生がいる一方で、何社応募しても良い結果が生まれない学生が存在するという二極化がより一層、顕著になってきている。

キャリアセンターでは、就職活動を継続している多くの学生を支援するため、5月17日から5月27日にかけて計9日間、210社を招いて合同企業研究会を開催し、1日平均350人を越える学生が参加した。引き続き6月27日から7月1日にかけても計5日間開催した。以降9月、11月もまた同様の行事の開催を予定している。今後も時宜に応じた支援プログラムを提供して、引き続き学生に対する就職支援を展開し、厳しい就職環境での活動をサポートしていく。

3 現・学部3年次及び修士1年次生対象の企業の採用活動について

企業の採用活動は、以前は大学と企業との間で結ぶ就職協定があったが、平成9年度に廃止され、それ以降は大学側及び企業側（日本経済団体連合会）それぞれで自主ルールを取り決め、お互いそれらを尊重し、遵守することの合意が交わされている。

そして、大学等が長年にわたって採

用活動の早期化と長期化の是正を訴えてきたことや、社会においてもこれらの諸問題が顕在化してきたことを考慮して、日本経済団体連合会は、今の現・学部3年次及び修士1年次生を対象とした倫理憲章を従来の内容を改訂し、その内容を平成23年3月15日に宣言した。

今回大きく改定された点は、従来10月1日から開始していた企業による会社説明会を今年から12月1日からとする、というものである。2か月後ろ倒しである。

しかし、この改定では、例年10月に各種情報媒体を通じた採用情報の公開や学生の応募登録（エントリー）や会社説明会を12月1日以降にずらしただけであり、採用選考開始は相変わらず4月1日以降としていることから、むしろ学生にとっては非常に短期に業界研究や企業研究、そして職業選択を強いられることになり、実質的な早期化は正とまらないことから、本宣言に対しては大学側と合意に至っていない。

しかしながら、日本経済団体連合会が宣言する内容は、我が国の採用活動に大きく影響することから、産業界全体としては概ねこの流れで推移するものと思われる。但し、冒頭に説明したとおり震災等の状況が今後の採用計画にどのように影響を及ぼしてくるか本年度の採用環境以上に不透明なた

め、本学では、今後の日本経済団体連合会の動きを注視していく。

4 校友の皆さまへ

キャリアセンターがおこなっている業界研究会等で来られる方々や来訪されるご採用担当者の方々の中には、本学OBOGもおられ、話を伺う中でそれぞれ活躍されていることが推察される。また学生もOBOGの方と話をする機会があれば、ざっくばらんに話ができてよかった。という意見をよく聞く。

キャリアセンターでは、学生の勤労観・職業観を育成するため、秋以降もさまざまなキャリア形成・就職支援行事を予定している。OBOGの方々が本学へお越しになる際は、引き続き学生へのアドバイス等もお願いしたい。

また校友の皆さまにおかれましては、後輩学生に応募の機会を拡げていただきますようお願い申し上げます。ご求人の方には、キャリアセンターまでご一報願えれば幸いです。



Kandai Kiratto Part 31

として採用され、窓口業務や電話対応を中心に、書籍やビデオの分類・整理、情報の収集・整理、分析などを行っていました。

そんな広野さんが新たな転機を迎えたのが、

一九九五年の阪神・淡路大震災。センターが神戸駅にあったこともあって、生命保険や損保の窓口が設置され、連日多くの人でごった返す状況でした。正職員が超多忙だったことから、広野さんは避難所の被災者に、情報提供を毎日行う『生活情報ファックスネット』の仕事を引き継ぐことになります。日々、鮮度の高い情報を提供し続けるため広野さんは、消費者センターに寄せられる相談から求められている情報を整理し、テーマを決め、自分でまとめて発信していきま



▲阪神淡路大震災時の「生活情報ファックスネット」

広野さん率いるマーケティング・リサーチ会社(株)アイ・キューブ。分析・企画に定評があるのは、四百人の女性モニターを抱え、徹底した現場主義とリアルな生活感覚で消費者のニーズに深く切り込んでいくから。『シユタイナー教育』がテーマだった卒業論文では「自分の目で確かめたい」とアポも取らず、ドイツ・ミュンヘンに。現地で体験したリアルなシユタイナー教育について書き、トップの評価を受けたといいます。学生時代から、もっぱら現場主義だったと話す広野さんにマーケティングの世界に入った経緯や信念についてうかがいました。

阪神淡路大震災の時に寄せられた 生の声がマーケティングのベース

現

在、マーケティング・リサーチ会社の代表取締役として活躍中の広野さん。マーケティングの世界に入ったのは、出産後に消費生活アドバイザー資格を取得したことが始まりでした。

消費者窓口の実務経験がなかったため、資格取得のために新聞や本を読んで勉強して合格。その知識を次の受験者に生かそうと始めたのが、『グローバル・アイズ』という資格者育成のための講座活動でした。六年間の活動で、のべ三百人の消費生活アドバイザーを輩出したそうです。

子どもが三歳になった一九九三年、兵庫県立神戸生活科学センターに就職。消費者は守られる立場という考えが主流だった時代、自立する消費者を目指そうという新たな取り組みを開始した時期で広野さんは生活情報アドバイザー

一九九五年の阪神・淡路大震災。センターが神戸駅にあったこともあって、生命保険や損保の窓口が設置され、連日多くの人でごった返す状況でした。正職員が超多忙だったことから、広野さんは避難所の被災者に、情報提供を毎日行う『生活情報ファックスネット』の仕事を引き継ぐことになります。日々、鮮度の高い情報を提供し続けるため広野さんは、消費者センターに寄せられる相談から求められている情報を整理し、テーマを決め、自分でまとめて発信していきま

した。「震災直後、まずは命に関わる情報、そして家庭用品に関することや、騙されたという被害などの相談に変わっていききました。情報を発信している時は、私自身も被災者だったので毎日必死でしたが、時間

心理学を生かした分析の視点から 生まれるアナログ的価値に着目

一九九六年、広野さんはご主人の転勤に伴い静岡へ。翌年、三菱電機(株)静岡製作所に入社し、冷蔵庫のマーケティングを担当します。広野さんが開発に携わり、日経ヒット商品賞金賞を受賞した『切れちゃう冷凍』の開発についてお聞きしました。最初は冷蔵庫の愛用者カードなどから満足度を分析し、他社との差別化について考えていました。最も多かった不満は冷凍庫が狭いこと。それなら冷凍庫の大きい冷蔵庫を作ればいいと単純に考えた広野さんに、設計担当者は「大きな冷凍庫は、消費電力も大きい。電気代の高い冷蔵庫は買ってもらえない」。そこから

広野さんの大奮闘が始まります。そもそも、なぜ大きな冷凍庫が必要なのかという主婦の視点に立ち返り、社内女性社員を集めてグループインタビューを実施。そこから見えてきたのが、「冷凍は腐らないから」という主婦の心理でした。しかし一方では「解凍が困難」



▲アイ・キューブ会社玄関にて

という問題点も浮かびがあり、それらの課題を元に、さらに深く切り込んでいくことに。開発や製造の現場は男性社員が中心でした。常に技術の進歩が求められるなか、広野さんは女性や主婦が本場に必要としているものは何なのか、当事者の肉声を届け、納得してもらうことが重要だと考えます。集めた意見を会議に出すと、男性社員からも「家内に聞いてみた」との声があまり始め、次第に共感する人が増えていきました。「そこで行き着いたのが、冷凍と言えぬ温度帯で女性の力でも包丁でお肉が切れるという冷蔵庫だったんですね。グループインタビューに協力してくれた女性社員たちも、みな満足そうに生き生きとしていました」と語ります。

広野さんは、人の気持ち動かないことには商品は売れないという思いから、マーケティングと心理学は近いと考え、アイ・キューブでは『クリエイティブ視点』『生活リアル視点』『心理学的分析視点』という三つの視点を重視しています。「0と1の間にある、アナログ的な人の心理を知ることこそが、デジタル情報を正確に分析・解釈することにつながると考えています。アイ・キューブのaはアナログ的価値という意味を込めたaなんですよ」。



▲お嬢さんの成人式(2010年)

生き方も経営方針も、徹底した現場主義とアナログ的価値観で

広野 郁子さん



▲社内風景



▲担当した日本製品の、海外での使用状況をチェックに(2010年ベトナム)

卒業論文も現場主義 ドイツでシュタイナー教育を体験

兵

兵庫県神戸生活科学センターでの『生活情報ファックスネット』、三菱電機の『切れちゃう冷凍』はまさにリアルな現場、リアルな生活感覚から生まれたものでした。広野さんの徹底した現場主義は、なんと関大時代にまでさかのぼります。広野さんの卒業論文のテーマは、ルドルフ・シュタイナーが総合的な人間学である人智学を基盤として展開した『シュタイナー教育』。当時の卒業論文といえば、ひたすら文献を読んで書き上げるものがほとんどでした。「本を読んでまとめるのは嫌でした。実際のシュタイナー教育の現場を自分の目で確かめてみたかったんです」。

広野さんは心理学科の学生三人と共にシュタイナー学校に行くため、ドイツのミュンヘンへと旅立ちました。しかし、分かっているのはミュンヘンにあるということだけ。詳しい住所も電話番号も知りません。列車の中で知り合ったドイツ人の男性教師に住所と電話番号を調べてもらうことができ、シュタイナー学校に電話をかけ、片言の英語でそこらに行きたいという内容のことを伝えると、予約なしでは無理との返事。しかし、簡単に引き下がるわけにはいきません。もうドイツに来てしまったと伝えると、仕方ないという感じで明日来るように言われました。翌日、行ってみるとウェルカムソングで迎えられという、予想外の大歓迎ぶり。シュタイナー学校では子どもたちに混じって実際の授業を受けさせてもらいました。その時の体験をまとめた卒業論文は、トップの評価をもらったそうです。論文のために三週間も学校を休み、アポもないまま現地まで行ってしまう広野さんの行動力にゼミの右島先生は「君は教師になるより、企業に行きなさい」と言ったとか。「最近、知人にドイツのことを話したら、『アイ・キューブって結局、その頃の郁ちゃんと何も変わってないよね』って言われたんです。私は学生の時から現場以外のもので報告するのは嫌だったんだなあと改めて実感しました」と笑います。卒業論文において発揮した現場主義は、消費者センターや企業のマーケティング部門を経て、ますます確固たる信念になり、アイ・キューブの質の高いマーケティングに生かされています。

プロフィール

広野 郁子(ひろの いくこ)さん

(株)アイ・キューブ代表取締役。一九八六年 関西大学 文学部教育学科卒業。関大卒業後は(株)リクルートに入社。出産を機に退職後、子育てに専念しながら消費生活アドバイザー資格を取得。兵庫県立神戸生活科学センターでは阪神淡路大震災時の避難所への情報提供、三菱電機(株)では、冷蔵庫のマーケティングを担当し、大ヒット商品「切れちゃう冷凍」の開発に携わる。二〇〇一年(株)アイ・キューブを設立。質の高いマーケティング力で企業から高い評価を受けている。

おめでとうございます—春の叙勲・褒章

政府は、例年4月に発表していた春の叙勲受章者・褒章受章者を23年度は、東日本大震災の影響から6月18日に叙勲受章者を、15日に褒章受章者と危険業務従事者叙勲受章者を発表した。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をご存じの方は校友会事務局へご連絡ください。氏名・卒業年・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

◆旭日中綬章

西村嘉郎（にしむら・よしお）昭35学文 74歳。元朝日放送代表取締役社長。大阪市福島区福島1-1-30朝日放送交付。

◆瑞宝中綬章

池田 進（いけだ・すすむ）78歳。名誉教授・元社会学部教授。吹田市江坂町4-18-3-1002。

大橋昭一（おおはし・しゅういち）79歳。名誉教授・元商学部教授。和歌山市湊本町1-10-1-1002。

川北文雄（かわきた・ふみお）昭40学法 70歳。元香川県副知事。東かがわ市三本松1060-1。

原田聖一（はらだ・せいじ）昭36D経 78歳。名誉教授・元経済学部教授。茨木市玉瀬町23-1。

◆旭日小綬章

佐々木新一郎（ささき・しんいちろう）昭38学商 70歳。京都府漁業協同組合連合会代表理事会長。京丹後市丹後町間人字合2151。

◆瑞宝小綬章

岩澤匡祐（いわさわ・きょうすけ）昭42学法 72歳。元大阪府警本部総務部長。大阪府泉南郡熊取町山の手台2-10-22。

岡本 忍（おかもと・しのぶ）昭42学商 70歳。元大阪国税局調査第二部長。高槻市富田丘町11-8-713。

岡崎誠道（おかざき・まさみち）昭32学法 78歳。元兵庫県警本部総務部長。神戸市長田区大日丘2-9-18。

谷川允祥（たがわ・まさよし）昭39学経 70歳。元大阪地裁刑事部書記官。葛城市長尾433。

中井節雄（なかい・せつお）昭25大経 84歳。大阪商業大学名誉教授。芦屋市大原町6-14。

中島 浩（なかじま・ひろし）昭32学文 78歳。元大阪区検副検事。奈良市松陽台2-32-4。

若竹 清（わかたけ・きよし）昭39学法 73歳。元奈良県生活環境部長。桜井市三輪558。

◆旭日双光章

鈴木幸兵（すずき・こうへい）昭38学法 71歳。奈良中央信用金庫理事長。橿原市菖蒲町4-12-7。

前田正司（まえだ・しょうじ）昭30学経 78歳。全国納税貯蓄組合連合会理事。神戸市長田区久保町5-1-1-2602。

◆瑞宝双光章

井上良尚（いのうえ・よしなお）昭38学法 70歳。元高石加茂郵便局長。高石市綾園2-5-31。

今井喜三郎（いまい・きさぶろう）昭25専2国 87歳。元公立小学校長。羽曳野市島泉6-4-4。

大西 寛（おおにし・ひろし）昭34学法 74歳。元奈良市登美丘北中学校長。天理市石上町584-2。

小川幸治（おがわ・こうじ）昭38学商 70歳。元近畿通商産業局商工部次長。橿原市菖蒲町4-38-8。

竹内直弥（たけうち・なおや）昭39学法 70歳。元福岡財務支局財務主幹。枚方市東香里南町40-6。

多田 章（ただ・あきら）昭25学文 87歳。元公立小学校長。枚方市出屋敷元町2-1-6。

細川憲伺（ほそかわ・けんじ）昭35学法 73歳。保護司。泉大津市二田町2-10-3。

うじ 昭35学文 75歳。元長田郵便局長。奈良市二名4-1193-67。

◆旭日単光章

森田 功（もりた・いさお）昭27学商 81歳。元奈良市公平委員長。奈良市高天町48。

◆瑞宝単光章

小西 丕（こにし・はじめ）昭36学法 73歳。民生・児童委員。大阪市天王寺区北山町3-18。

富田隆彦（とみた・たかひこ）昭33学文 77歳。元国勢調査員。大阪市大正区泉尾1-19-33。

危険業務従事者叙勲

◆瑞宝双光章

河野一二三（かわの・ひふみ）昭35学法 73歳。元大阪府警警視。箕面市粟生間谷西4-2-36-406。

志賀弘和（しが・ひろかず）昭38学経 70歳。元大阪市消防正監。藤井寺市藤井寺2-4-32。

神藤秀夫（しんどう・ひでお）昭32学法 80歳。元警視長。大阪府泉南郡熊取町大久保中3-1-7。

高垣和哉（たかがき・かずや）昭36学法 72歳。元兵庫県警警視。明石市東朝霧丘28-6。

寺西平四郎（てらにし・へいしろう）昭44学文 64歳。元豊中市消防監。茨木市蔵垣

内3-8-27。

中村 準（なかむら・ひとし）昭40学文 68歳。元八尾市消防正監。八尾市東弓削1-94。

兵藤央大（ひょうどう・ひさもと）昭39学法 70歳。元警視正。西宮市上ヶ原五番町2-57。

藤本伊都彦（ふじもと・いつひこ）昭39学法 70歳。元大阪府警警視。高槻市松ヶ丘2-26-26。

松下敏彦（まつした・としひこ）昭40学法 69歳。元大阪市消防正監。茨木市春日1-15-21。

松本憲人（まつもと・のりひと）昭38学文 70歳。元大阪市消防監。大阪市阿倍野区橋本町8-47。

◆瑞宝単光章

小松龍夫（こまつ・たつお）昭39学法 71歳。元大阪府警警視。橿原市今井町1-2-20。

中山康紀（なかやま・やすのり）昭38学商 71歳。元大阪府警警視。寝屋川市秦町35-2。

褒章

◆黄綬褒章

鍵山祐一（かぎやま・ゆういち）昭42学商 67歳。サンリッチ代表取締役。京都市西京区御陵大枝山町6-15-3。

オース!ごきげんさん。

連載 38



午前中のうだるような暑さの中で約1時間半の練習を終えて、今自宅近くの緩やかな坂道を背中に軽い陽射しを浴びながら真っ白な教会の方向へ散歩している。今日の合気道の技はうまく伝わっているかな、

日本の武道の一旦でも理解してくれば、な、と自問自答しながら、ゆつくりと歩を進めている。気がつけば、いつの間にか関大逍遙歌「嵐つなぐ鳳の翼休めし自治の山……」を口ずさんでいる。思えば一昨年3月下旬20数時間の機内の長旅を経て、ここエルサルバドルへ合気道を始めとして空手、剣術等の指導のためにようやくってきたな、と。

関大時代は学生運動が盛んで、試験もともに受けられなかった記憶がある。そんな中で、他の学生から取り残されたように吟詩部活動に4年間の青春を過ごした。まさに吟詩部によって社会人としてあるべき姿を教えられ、育てられた感がある。



▲エルサルバドルでの教え子（武道教官）たちと

山在り、谷在りの私の人生で、この貴重な経験にどれほど勇気づけられ、また誇りと自信を持って過ごして来られたことだろうか。吟詩部活動の他に肉体的、精神的に鍛えるために空手、天真正伝香取神道流剣術（居合、棒術、薙刀等）を修めたことが、今回の武道指導に繋がったのは否めない事実である。

卒業後は、大阪の貿易会社を経て昭和49年兵庫県警察官を拝命。33年間奉職し56歳で早期退職した。県警時代に妻と知り合っって一男二女に恵まれたものの、妻は36歳の若さで癌の為に他界した。その後は母親を呼び寄せ、子供を育て上げた。3人の内の一人は文学部中国語学科卒で、上海の復旦大学に交換留学生として1年間の留学経験を有する。

50歳を過ぎた頃から、今までの警部としての地位、外事警察の経験、韓国語通訳として活動してきた事を振り返った時、やりたい事はあった、妻との約束の子育ても終了した、後の60歳からの第二の人生は自分の経験を生かして人に役に立つような仕事や活動に没頭したいと考えたようになった。

しかし、具体的な目標は無く、ただ時間だけが過ぎていくように感ぜられたことから、一旦警察人生に区切りをつければ何かが見えてくるだろうとの思いで56歳で退職に踏み切った。

第二の人生を如何に生きるべきか、と模索していた時にJICA（国際協力機構）に巡り合った。その頃、空手7段、剣道4

青春の夢を追いかけて

〈上〉 川原 正

段、柔道2段、合気道4段、他に天真正伝香取神道流も修めており、また日本語教師の資格もあることから応募したところ、中米の貧困国であるエルサルバドルから国家安全警察学校の武道教官に逮捕術に資する合気道指導の要

請があり、応募。健康診断、英語試験、面接を経て派遣が決定された。

いざ応募してみると、実際の生活では英語より西語修得が必須なため、JICAの駒ヶ根訓練所（長野県）で約3ヶ月西語のイロハから勉強させられた。また着任後にも1ヶ月間、エルサルバドルによる語学訓練を受けたものの日常会話の域を出ておらず、本来の合気道、空手、逮捕術の指導は全て日本語で行っているが、その他の事については周囲に日本人がおらず、頼れるのは自分の語学力だけだった。60歳から始めた語学訓練も1年経った今、タクシー、バス、買物といった日常生活から武道の技の説明等々について、何とか西語を駆使している自分がいるではありませんか。やる気に加えて、必要性和環境が整えば『やれる』と思

った。国家安全警察学校での活動は、警察官になろうとする学生には直接指導することではなく、武道教官に対しての指導が要求されておき、武道教官の中には元オリンピックのレスリング選手、空手・テコンドーの有段者で180センチ以上や、ボブサップのような筋肉マン相手に指導しなければな



▲模範演武を披露する筆者

川原 正（かわはら・ただし）

昭和25年神戸市生まれ。兵庫県立鈴蘭台高等学校を経て、昭和44年関西大学社会学部に入學。吟詩部に所属し、学生時代を過ごす。48年3月卒業。卒業後、貿易会社を経て兵庫県警察巡査を拝命、平成18年警部で早期退職し、ガス関係の会社へ再就職。その後長男が兵庫県篠山市に鍼灸整骨院を開業するに当り準備に奔走。平成21年3月からJICAシニアボランティアとして、エルサルバドルに合気道指導で赴任。信条は「進歩と向上」、尊敬する人物は中村 天風。詩吟7段、韓国語、英語検定2級。武道暦は、合気道4段、剣道4段、柔道2段、空手7段、天真正伝香取神道流を修める。

りません。当初は、本当に日本の技が通じるのだろうかと思いましたが、いざ指導してみると筋肉が硬いためか技が面白い程決まり、日本で余り使用していない技を試したり、新しい技の創作を手伝わせてりして、互いに切磋琢磨して肉体系だけでなく、禅やヨガを取り入れたりして、彼らに宇宙との一体感を感じさせる精神的な面にも力を注いでいる状態です。

北から 南から 〈各地支部だより〉

来賓と会員150余人が出席 ホテルオークラ神戸に集う

神戸支部（齋藤富雄支部長）の総会が、6月17日、ホテルオークラ神戸に来賓、支部会員ら150余人が出席して開催され、2議案をいずれも可決承認した。

太田慎二常任幹事（平3法）、藤田喜枝常任幹事（平8商）の司会で定刻に開会。渡邊泰之副支部長（42法）の開会のことば、学歌斉唱、来賓紹介があり、齋藤支部長（44法）が挨拶。「新支部長として1年、事業は順調に展開した。ここ1年

は自然災害が多かった。特に東日本大震災の復旧復興に、今の若者学生たちは立ち向かっていかなければならない。関大においても災害支援に積極的に活動し、危機に強い関大生の行動を願いたい」と述べた。

来賓挨拶で古川好男校友会副会長からは、「強い関大、元気の校友会」をテーマに母校の受験人気度、スポーツの活躍、卒業生の資格試験合格状況などのお話をいただいた。

総会議事承認後、懇親会が行われ、神戸市長である矢田立郎顧問（46法）の挨拶・乾杯で開宴。懇親賑わう中、後半は現役応援団の演舞演奏に大きな拍手の渦となった。野村典子副支部長（48商）の閉会のことばの後、逍遙歌合唱で総会の幕を閉じた。（幹事長 谷口欣久・61工建）
URL <http://www2.kandai-koyuka.com/al/kobe/>
メール kul86@nifty.com
東光商会気付 F A X 078

組織部からお知らせとお願い

～地域支部ご担当者のみなさまへ～

地域支部活性化プロジェクト始動

平成21年、22年度の全国組織代表者会議の開催を機に、全国各地の地域支部では、更なる活性化をはかり、ひとりでも多くの校友が参加するよう懸命に努力を重ねておられます。支部長はじめ役員の皆様には、日頃から支部運営にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。校友会本部といたしましても、「組織の活性化」は4年間の重点施策のひとつであり、殊に校友会組織の基盤である地域支部の強化発展は最も重要な課題として、ネットワークの構築を鋭意進めてまいります。

さて、校友会本部では、毎年全国の各地域支部総会に、会長および副会長が出席させていただき、それぞれの地域支部における実状について拝聴しております。さらに、全国組織代表者会議を開催し、支部の財政、次世代校友の確保、参加者の拡充などの問題、総会以外の支部活動や支部会報発行の事業、また、若手会の設置など様々な施策について熱心な議論を行い、活性化を推進しております。本年度、これまでの全国組織代表者会議をより一層深化したものといたしたく、本部と支部が直に協議し意見交換を行う場を設け、支部発展に向けて具現化を進めたいと考え、「地域支部活性化プロジェクト」を立ち上げました。

つきましては、支部強化に積極的に取り組んでいる支部、再構築を望む支部、活動が停滞している支部など、支部の役員会や幹事会に参加させていただき、役員の方々と直にお会いし意見交換を行いながら、具体的に活性化に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご意見、ご要望などございましたら、まずは、校友会事務局までご一報ください。

電話 06-6368-0041～0045 FAX 06-6380-8476 Eメール koyukai@ml.kandai.jp

453-2171

京都南部ブロック懇親会 がんばろう！日本、関大

4月16日、近鉄大久保駅近くの「鹿六」に15人参加し京都支部（牧村史朗支部長）南部ブロック懇親会が開催された。

開会に先立ち3月11日午後2時46分に起こった未曾有の災害・東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げ、出席者一同、共にがんばろうと祈念した。

高木さん（42商）の司会により牧村支部長（32法）の挨拶・関大の近況報告、そして震災による経済活動の停滞による悪影響を身近に感じ深刻であるが、ここは全国民が支えていくとの力強い言葉を大きな声で述べた。

井口副支部長（43文）の発声で乾杯、懇親会に入った。懇親



会では先輩、後輩関係なく酒を肴に話の輪が広がり、初参加の

岩井さん（33法）の自己紹介から丸テーブルを囲んでいる席順に自己紹介があり、各人自己PRに拍手で応え一巡した頃にはビール、酒、焼酎、ウイスキー、烏龍茶、好みの飲み物を飲み交わし、堅い話、面白い話、それぞれ話に花が咲く賑わいで懇親会は大いに盛り上がった。

集合写真は倉田カメラマン（38工）の指導で「鹿六」のスタッフにシャッターを押してもらうことで全員おさまり記念の一枚となる。その間も倉田さんのやりとりには笑いは絶えなかった。

京都支部総会での再会を約してお開きとなった。

（44商 宮地莊二）
（大西康治）075-691-3513

敷居越え和やかな懇親会 京料理のご馳走いただく

左京・北・上京在住、在職校友を対象とした京都支部洛北ブロック懇親会が、石田宗久相談役の紹介で京料理「六盛」で5月28日開催された。

参加者は昭和32年卒業の先輩から最も若い方は平成11年卒業の方まで31人に及ぶ盛会となった。今回の懇親会も京都支部の伝統に則り、年齢や肩書きに囚



われることなく、先輩と後輩の敷居を越えて和やかな懇談が図られた。

また、伝統的な京料理がその場の雰囲気より引き立ててくれた。食事の前には六盛の店主自らが、京料理と六盛の伝統について語ってくださり、店主の計らいで、めったに頂けないようなご馳走を頂戴することができた。

最後に参加者全員で逍遙歌を唄い、小柳節夫氏の口上で一気に場が盛り上がり親交を深め、京都支部総会での再会を誓い合うこととなった。

今回は出席者全てが男性という構成で、女性の校友の姿が見られなかったのが唯一の残念な事となった。次回は是非とも女性の校友の方々も声を掛け合っ

て多くの方が参加されることを期待しています。

（昭54工 高山 勝

武田尾溪谷と桜の園 39人でハイキング

宝塚支部（兼丸秀樹支部長）は、4月9日に武田尾溪谷と桜の園へハイキング、校友、家族、友人総勢39人が参加した。

前日からの雨で開催が危ぶまれたが、幸いにも朝には雨が上がった。集合場所のJR生瀬駅から出発し、桜や紅葉の名所で有名な武田尾溪谷と福知山廃線跡を歩くハイキングコース。

途中、ソメイヨシノやヤマザクラを愛でながら、レール跡や枕木の上を歩き、持参の懐中電灯を点けながら真っ黒なトンネルを6つ抜けたり、鉄橋の上を歩いたり7kmと短い、若若



男女が楽しめた。

展望広場でお弁当を食べながら、和気藹々と談笑し交流後、水上勉の「櫻守」の舞台になっている「桜の園」へ。運が良ければ千本のヤマザクラやサトザクラを満喫できるが、今年は全く開花していなかったため、ふれあい広場で集合写真を撮影後、解散。有志は武田尾「さくらや」で打ち上げをし、親睦を深めた。

溪谷の素晴らしい風景を楽しみながら、楽しくリフレッシュした一日でした。

（39商・門田安正）
平15文・児玉美知子
（塚本寿一）0797-85-1491

緑地散策と麦酒工場見学 試飲ビールは格別の味

川西支部（浅野洋一支部長）歩こう会の第11回春の大会が、5月14日に行われ、新緑に映える豊中市・服部緑地公園を散策し、アサヒビール吹田工場を見学した。涼しい風をうけ心地よい汗をかき、30人の参加者が春の一日を楽しんだ。

阪急・川西能勢口駅に集合した一行は、曽根駅で下車。服部緑地公園をめざした。道中は、在学中の話で花が咲き談笑が絶えなかった。到着した公園は春の真っ盛りで、チューリップ、



サツキ、ハナショウブ、バラなどが咲き乱れていた。

しばし休憩・散策した後、一行はさらに植物園まで歩き、入園。ボランティアガイドによる園内の花木の説明を聞き、ハーブ園ではいい匂いのする草花を観賞した。昼になったところで食事・休憩。

皆で記念撮影し、植物園を後にした一行はお待ちかねのアサヒビール吹田工場に向かった。町中のウォーキングで、多少の疲れはあったもののビール工場見学ということで、俄然元気が出てきて予定時間より30分も早く到着。

工場では会社の沿革をビデオで観賞、女性案内係の方による工場内設備やビールができるまでの工程の説明を聞いた。その後、ゲストホールで待望のビー

ルを試飲。のどを枯らしていただけに、そのおいしかったこと格別であった。

ホール前では、係の方が記念写真をパチリ。関係者にお礼を述べ、工場を後にした。

(歩く会 白井宏
荒木敏雄 072-758-1787)

悪天候ながら大漁 支部長杯は辻田氏に

川西支部の釣り同好会第17回春季釣り大会が、泉南の「海釣ぽーと田尻」で5月22日に参加者7人で開催された。曇り小雨・時々本降りの悪天候であったが、雨空を吹き飛ばす意気込みで午前7時より競技を開始した。

昨春大会優勝者の井上氏が、まずタイを釣り上げたのを皮切りに、各人が次々とタイ・シマ

アジを釣り上げ、初参加の安田氏も快調、優勝争いに加わっている。

青物狙いに仕掛けを替えた山内、滝岡会長の竿にはカンパチが来て強い引きに、魚とやり取りしながら、それぞれ上手く釣り上げることが出来た。初心者の本田氏は慣れない竿捌きに苦戦しながらもタイ・シマアジを、野口氏もタイ・シマアジ・イサキを順調に釣り上げていた。

そんな中、辻田氏にハブニングが発生。どうしたことが、辻田氏の魚が入ったままの魚籠が海中へと落下。しかし辻田氏はあまり意に介せず、その後も快調なピッチで次々と釣り上げた。午後1時に納竿し、競技を終了した。

優勝(竿頭)はタイ7匹・シマアジ6匹の計13匹を釣り上げた辻田嘉扶氏だった。全員での釣果はタイ28・シマアジ14・カンパチ4・アイナメ2・イサキ1の合計49匹と大漁だった。

表彰式は6月4日に川西能勢口「さとすし半」で開催された第9回釣り同好会総会の席上で行われ、浅野支部長から支部長杯が優勝者の辻田氏に授与された。(釣り同好会 山内眞一郎)

城下町”あかし”を歩く 景観ウォーキングの会

明石関大クラブ(鈴木一雄会



長」の恒例行事としてすっかり定着した「景観ウォーキングの会」も第8回を迎えた。

4月29日、今日のコースは文字どおり市の中心に位置する城下のまち「あかし」を歩くこととした。好天に恵まれた午前10時、JR明石駅に参集の校友と家族13人がボランティアガイドさんの先導で出発。

最初の「長寿院」には徳川家康の曾孫にあたる松平直明明石城8代目藩主から15代目松平斎宣までの歴代藩主とその夫人、子どもなど60基の御廟所がある。現在は城域も縮小されているが、現国道2号の走る道がかつての外堀であったと聞かされると、明石城の広大さが想像されることになった。

続いて「両馬川源平古戦場」、平忠度を祀る「忠度塚」、「稲爪神社」の山門は「左甚五郎」の名刀による彫り物が目を惹く。



■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般



JIRON シロン自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司

<http://www.jiron-auto.co.jp>

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新!

ジロン自動車

で 検索

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間: (平日) 9:00~19:00 (日祝) 10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く



盛大に創立70周年記念総会開催 堺キャンパスに備品を寄贈

旧街道宿場町「大蔵谷」は、大きな宿場として多くの旅人が集まり、そこに何頭もの馬がつかれたとは、往時をしのぶには様変わりが大きく、わずかに残る中二階の格子窓、白壁の古い家に遠い緑に思いをいたすことができた。

明石海岸に位置する「中崎公会堂」は、明治44年に白砂青松の地であった中崎海岸に建てられた、わが国最古といえる歴史と荘重さを有し、こけらおとしに文豪夏目漱石が講演したことは有名である。

万歩計はすでに1万2千歩近

くになり、この「中崎公会堂」からわずか徒歩10分余り、天下の名勝「明石大蔵海岸」に沸く天然温泉「龍の湯」が疲れた体を迎えてくれた。快い湯にほてった空腹に待つは冷えたビール。乾杯。みんなが心に「逍遙歌」を口ずさみながら、よくぞ関大に学びけり。

2時30分、次回ウオーキングを期待して、楽しかった交友（校友）の催しは解散となった。

（会長 鈴木一雄）
（ふじもと法律事務所 〓 078-917-7481）

堺支部（隅谷哲三支部長）は6月25日、リーガロイヤルホテル堺で大学から上原理事長、楠見学長、寺内校友会長等をはじめ、近隣支部代表の方々を迎え、校友100余人の出席のもとに創立70周年記念総会を盛大に開催した。

第1部は、野間幹事の司会のもと、応援団吹奏楽部の伴奏による学歌斉唱後、堺支部会員と東日本大震災被災者の物故者へ黙祷を捧げ、隅谷支部長の挨拶で始まった。

本支部は昭和16年2月22日に大浜公会堂で発会し、諸先輩の

ご尽力で今日を迎え、ことに天井一夫前支部長は支部発展に大きく貢献。また昨年夏から実行委員会を発足させ、記念総会・記念誌発刊に向け準備し、目標額の資金も集まり校友の底力を実感した旨の挨拶がなされた。

次いで上原理事長の祝辞では、これからは堺が一つの拠点となる。堺キャンパスはコンペにおいて僅差で競り勝ってできた。堺キャンパスを中心にますます隆昌することを祈念したい旨の挨拶があり、楠見学長祝辞では、被災した学生状況につき、その立ち直りに大学が貢献している話を披露された。寺内校友会長の祝辞の中で、関西大学も吹田・高槻、堺各キャンパスと広がってきた。校友会も一層盛り立てていきたいとのメッセージがなされた。

議案審議は、議長に隅谷支部長が選出され、第1号議案「5号議案ともスムーズに流れ、審議は全て承認された。

次いで堺支部から、支部創立70周年を記念し堺キャンパスへ寄贈した物品目録が上原理事長へ渡され第1部は無事終了した。

第2部の講演では、関西大学会計専門職大学院教授宮本勝浩先生から「これからの堺の発展と情報の重要性」のテーマで講演をいただいた。先生は大阪

府立大学に在籍されていた関係で、堺市との連携が深く、現在も堺市人事院委員長の要職にもある。

堺市にシャープが来てから他の企業も集まり、政令指定都市の中で堺は財政状況が一番よい。しかし大震災で経済は落ち込み、電力も原発事故で関西電力も止まっている。政治の方で決めてもらわないと大変なことになると警鐘。その中で堺は鉄砲伝来で西洋に先駆け分業を始め、大量の鉄砲を作った。また情報では南蛮貿易で最先端の情報を得てそれをうまく使っている。情報の重要性につき、一番にそれを活用した小田信長の桶狭間の戦いやロスチャイルド財閥の話を受けて分かりやすく話された後、震災後東日本が停滞した今は、大阪を中心にして西日本が元氣を出して日本をリードしていかなければならない。切断された部品供給のネットワークの回復を早急に図る必要がある。ことに今後は人口の減少で経済力が下がるので経済活性化策を打ち出さなければならぬ。堺は「ものづくり力」を持っている。西日本経済のリード役としてその力を発揮すれば経済は活性化すると力強いエールをいただいて講演は終了した。

次いで全員で記念撮影をし、部屋を移動して第3部の懇談会



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、確かな技術の中から最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。お届けするのは、印刷ソリューション。そのために、情報も対応も、より速く的確に。いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ! 私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

に入った。来賓の竹山修身堺市長から、堺にキャンパスができたことに始まり、堺市が関西大学と如何に関係が深いかをエピソードを交えながら、温かいお祝いの言葉をいただいた。寺内校友会長の乾杯でいよいよ宴が開き、祝電披露の後、歓談に入った。その後、最大イベントの関西大学応援団による演舞演奏が始まった。力強い太鼓の音に乗せ、チアガールは舞い、リーダー部男子は大声で舞う。勇壮な中に可憐さもあり、観客もいつの間にか青春が甦って一層の盛り上がりを見せた。宴たけな

わのうちに終わりが刻々と近づき、堀畑副支部長の閉会の辞では、大学、校友会、近隣支部、校友への感謝の言葉が述べられた後、これから80年、90年、100年へ向かつての堺支部の飛躍を誓って第3幕はとじられた。終わりに応援団長の指揮のもとに、全員が輪になって声高らかに追遙歌を合唱し、記念総会は盛会裏に閉会となった。

この節目を契機に「友の輪」を活用し、これからも仲良く楽しく若い人が多く参加し運営できるように、皆様のご協力をいただき適進していきたく思います。



（平8法）を迎え、「知られざる横顔」を拝聴した。コントウコウと読めない若い世代がいることや、教科書の文学史にも出てこない小説家、宗教家、政治家、など沢山の顔を持つスペシヤリスト今東光の魅力と八尾・河内の関係を熱く語った。同講師の造詣の深さに参加者全員が聴き入った。校友として今後の活躍を期待し拍手を送りたい。

懇親会では、名刺交換や、各支部の近況報告などが行われた。母校へ熱き想いを語る姿は正に青春そのものであった。

創立25周年記念総会開く 記念誌を15年ぶりに発行

門真支部（西田一郎支部長）

創立25周年記念総会が、5月20日に京阪古川橋駅前、日本料理「仙亭」に、寺内俊太郎校友会長、近隣各支部（枚方・寝屋川・交野・四條畷・守口）、関西学院同窓会門真支部から代表の方々の臨席を得て開催された。

がある。

また、25周年記念冊子『友の輪』わが町の校友』を15年ぶ



第1部では、寺内校友会長から大学の近況、お祝いの言葉をいただき、続く議案は滞りなくすべて承認された。先の統一地方選挙で見事2期目の当選を果たされた校友の宮本一孝大阪府議からもお祝いの言葉を頂戴した。市議会では2人の当選校友

市役所と対等に協力を
今東光に関する講演聞く

八尾支部（中尾達夫支部長）は、23年度総会を6月18日、八尾市文化会館レセプションホールで、本部の田中義昭副会長はじめ近隣9支部の代表を迎え和やかに開催した。

田中副会長の挨拶では、大学の現状、受験者数の増加等の報告があり、司法試験合格者に關して低調で低迷であったと苦言を呈する一場面があった。

総勢26人が総会参加
8月には葡萄狩り計画

柏原支部（岡野有幸支部長）の総会・懇親会が5月22日、柏原市内サンヒル柏原で校友会本部・関西学院柏原支部・河内近隣支部の来賓を迎え、総勢26人が集い開催された。



でなごやかな宴となった。続いて河内長野、東大阪、八尾、富田林、藤井寺、生駒、平野支部代表より各支部の近況報告をいただき、恒例のビンゴゲームでは全員が楽しい一時を過ごした。柏原支部では、8月中旬にどのような計画をしていますので是非とも参加ください。

(岡野有幸 072-972-0325)

ドキドキ3分間スピーチ 昭33〜平22卒の41人集う

和泉支部（山本邦夫支部長）は、23年度総会を6月4日、和泉シティプラザに田中義昭校友会副会長を来賓に迎え、昭和33年から平成22年卒までの総勢41人の校友が集い開催した。



1部総会では、役員選出等の議案が承認され、杉本光伸支部顧問の乾杯の発声で2部懇親会が始まった。最近の関西大学を紹介するDVDが映され、それを話題に話も弾み、また誰が指名されるか？抽選によるドキドキ3分間スピーチ等で盛り上がった。

お開きも近づき、最後に校友会事務局奥田課長による大迫力の逍遙歌合唱、昨年より大きな円陣で肩を組み「強い関大」を感じつつ全員で大合唱。熱気冷めやらぬなか、中井忠三副支部長の挨拶で閉会した。

(山本邦夫 0725-57-2761) 杉田通雄



ほろ酔い気分で大満足 28人で日帰りバス旅行

6月5日、心配していた天気は雨も降らず、暑くもなくちょうど良い感じとなり、枚方支部（阿部進支部長）の第21回日帰りバスツアーには28人が集まった。

まずは、「麒麟ビアパーク神戸」にてテンションアップ。約60分の工場見学ツアー。仕込み、発酵、びん詰め、出荷等、こだわりビールができるまでの工程説明を受けた後、お待ちかねのビールの試飲大会。但し3杯まで。出来立てのビールをおいしくいただいた。みなさんほろ酔い気分、あーおいしかった！

「しい茸ランドかさや」では、バーベキューにするシイタケを

籠いっぱい採取。肉厚のジュシーなシイタケがたくさん採れ、待ちに待ったバーベキュー。採り立てのシイタケをジューと焼き少し塩をふりかけてバクツ、アアおいしい。肉は三田肉でしたが、おなか一杯になり大満足だった。

三田永沢寺では、昼食にバーベキューを食べすぎたので、運動のため花菖蒲園にて散歩。しかし、今年は気温が低かったようで、ほとんど菖蒲は咲いていなかった。広々とした庭を散歩し、きれいな空気を吸って、とりあえずよしとするか。

帰りのバス中で爆睡された方、ビデオを見て爆笑された方、お疲れさまでした。

(63 佐々木敏人 阿部進 072-805-0005)

千2百人に無料姓名判断 市民ふれあい祭りに参加

東大阪支部（岩崎英夫支部長）は5月8日、第34回東大阪市民ふれあい祭りに参加した。

当日は快晴に恵まれ、近鉄河内永和駅前早朝7時集合。支部所有の大型テント、年に一度の設営に四苦八苦しながらの作業もいよいよ汗をかいて完了。パレードが始まるやテント内は大繁盛、パソコン5台で、姓名判断を市民に無料提供した。長老か



ら若手の20余人が交代で入力し、実に1200人を超える来訪者に提供した。

東大阪支部としては、第1回より実行委員活動で参加しており、23回目以後は、加えて出展参加を実施してきた。本年度も関西大学マーク入りのテントと支部旗を見て、校友の父兄から大量の差し入れもあり、関西大学校友会のサロン化した。

訪れた校友に、ぜひ校友会への入会と、来る6月の総会への参加を啓発、大いに市民ふれあいの祭りの実績を上げ、東大阪に関西大学校友会在りとアピールした。

近年、ふれあい祭りがややもすると、安易な露天商化する中で、純粹ボランティアの奉仕活動で、実行委員長より、是非来年も引き続きの出展依頼と、本年同様駅前の1等地の提供確約を受け、午後4時には散会、その後打ち上げでは、大いに飲み、

来月の総会に向かって気合を入
れなおした。

(副支部長 在間 寛

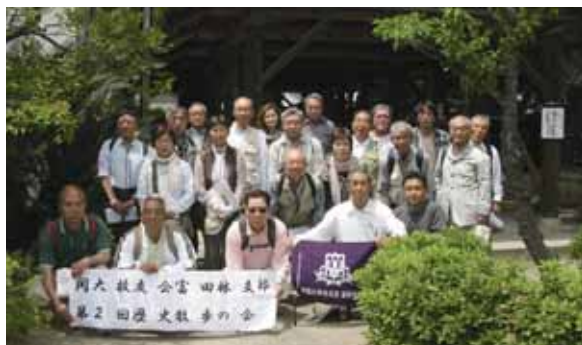
(岩崎事務所) 072-966
-0111)

古市古墳群訪ねる 第2回歴史散歩の会

富田林支部(杉多弘至支部
長) 歴史散歩の会では5月15
日 会員家族を含め22人が参加
して、最近、世界文化遺産登録
へ気運が高まっている藤井寺・
羽曳野地区の古市古墳群を訪ね
た。

古市古墳群には、墳丘長42
5メートルの応神天皇陵をはじ
め200メートル以上の巨大な
前方後円墳が7基、大小合わせ
44の墳丘、墳墓がある。

これらは、4世紀末から6世



紀前半に築かれたもので、大王
陵級の巨大前方後円墳が多く、
『宋書・南宋書・梁』に名をと
どめる「倭の五王」の墳墓が含
まれていると言う。参加者一行
は、この「河内王朝」の時代に
思いを馳せながら約8キロの道
を歩いた。

コースは、近鉄「土師ノ里」
から允恭天皇陵→道明寺天満宮
(宝物館・修羅) →中津姫陵→
小室山古墳→応神天皇陵→誉
田八幡宮→羽曳野市役所まで。

講師は、昨年到现在鍋島隆宏
さん(平5文・太子町教育委員
会文化財保護課勤務・学芸員
に依頼。自作の貴重な資料によ
り、それぞれの古墳の形体、特
色、時代背景等について分かり
やすく丁寧に解説していただい
た。

とくに道明寺天満宮では、福
宜の南坊城光興さん(平9文)
から宝物殿、修羅、境内の案
内、説明を受けた。

最後に羽曳野市役所を訪ね、
吉沢則男さん(60文・羽曳野市
教育委員会勤務・学芸員)に屋
上から四方に多く点在する墳丘
の説明を受け、世界文化遺産登
録に向けての取り組みについて
語ってもらった。

今回の見学は、その一部に過
ぎないが、さらに堺市の百舌鳥
古墳群と一体となって、一日も
早く世界文化遺産として登録さ

れることを期待しながら解散し
た。(幹事長 秦 純二)
(野島努) 072-23-31
90)

ビジネスチャンスに ついて佐伯社長が講演

5月15日に道頓堀のホテルメ
トロT H E 21で西成支部(吉村
健治支部長)の総会が開催され
た。校友会から古川副会長、ま
た阿倍野支部から松田支部長と
九之池・松峯副支部長が出席さ
れた。

第1部の総会では各議案が滞
りなく審議・承認され、第2部
では鮮魚・回転寿司経営の大起
水産(株) 佐伯社長のビジネス
チャンスの講演を拝聴した。
第3部の懇談会ではテーブル
によっては宗教論に花が咲いた
り等、大変盛り上がった。

最後に、校友会奥田課長のリ

総勢70人の盛大な春季総会 新理事長に一軸浩幸氏が就任

大阪倶楽部(畑下辰典理事
長)の春の総会は、5月14日大
阪・網島「太閤園」で開催。総
勢70人が参加。近年にない盛大
にして、有意義な催しとなった。
かつて昭和40年代の校友総会と
して、馴染みの深い会場であっ
てか、定刻には、満席の盛況の
下に開会。会則による新役員選



ードによる逍遙歌で一層盛り上
がり、堀田氏の閉会の辞で散会
となった。支部会員の出席人数
は吉村支部長を含めて20人だっ
た。(文責 花岡
(吉村健治) 06-6661-5
325)

出では、次の人選を承認した。

「理事長」一軸浩幸、「副理事
長」朝倉 満、近江巳記夫、児
玉憲夫、高橋 一夫、田中義昭、
「監事」中村良介、植垣喜一、
「名誉理事長」植垣幸雄、「顧
問」畑下辰典、「相談役」寺内
俊太郎、山本守昭、中野英満、
「理事」34人(略)



ついで今期で退任の畑下前理
事長に記念品の贈呈をもって、
総会のセレモニーを閉じた。

引き続き、「東大阪の人工
衛星打ち上げ裏話と迫りくる宇
宙旅行時代」とのテーマで、宇
宙航空研究開発機構(JAXA
A) 宇宙教育センター認定・登
録宇宙教育指導者として活躍
の辻裕彦先生を講師にむかえ
て、東大阪人の心意気をアピ
ールされ、宇宙講話をいただいた
このあと会食に移り、恒例の
手品・詩吟の余興を楽しんだ。
午後2時、迎えの大型バスに乗
り、「大阪市立科学館」に移り、
午後3時〜5時まで、プラネタ
リウムを鑑賞し、週末の一日を
心ゆくまで楽しんだ。
(藤本道人
(校友会事務局気付) 06-63
68-0041)



当学院教室開講都道府県
合格者占有率

50.0%

当学院教室開講都道府県
学科・製図ストレート
合格者占有率

54.5%

※都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。
※上記、当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、長野県、鳥取県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受験し合格された方は、合格実績に含んでおりません。※学科・製図ストレート合格者とは、平成22年度1級建築士学科試験に合格し、平成22年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含まれておりません。

関西大学

平成22年度 1級建築士合格者

卒業合格者62名中、34名が
当学院の講座を利用して合格されました!

平成22年度 2級建築士 試験

学科試験

当学院受講生 基準達成者合格率
8割出席・8割宿題提出・模擬試験60点以上
受講生533名中、合格者514名

96.4%

設計製図試験

当学院合格者数
2,273名

2級製図講座 当学院受講生
基準達成者合格率
9割出席・9割宿題提出・受講生
1,690名中、合格者1,260名

75.7%

平成22年度 宅地建物取引主任者 試験

当学院受講生 基準達成者合格率
当学院 合格バックアップシステムの基盤である8割
出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上の
受講生117名中、合格者93名

79.5%

平成22年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験

当学院受講生 基準達成者合格率
9割出席・9割宿題提出・受講生144名中、合格者130名

90.3%

実地試験

当学院受講生 基準達成者合格率
9割出席・9割宿題提出・受講生509名中、合格者446名

87.6%

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含まれておりません。

“わかるまで”“独力で解けるまで”
“描けるまで”指導します。

1級・2級建築士

1級・2級建築施工管理技術士

宅地建物取引主任者

インテリアコーディネーター

ファイナンシャル・プランナー

構造計算コース

株式会社 総合資格
(社)日本建築学会
(社)全国産業人能力開発団体連合会
株式会社 総合資格学院法政講習センター
国土交通大臣登録講習機関

監理技術者講習実施機関 登録番号7
宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(2)第5号
一級建築士定期講習 登録番号 第6号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索!

ケータイサイトも充実!

総合資格

検索

http://gakuin.jp/

www.shikaku.co.jp

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りません。



総合資格学院

すべては「合格」のために

梅田校 TEL.06-6374-1411 神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511 津津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711

学院長 岸 隆司 (法48卒)

廣田名誉教授が若手激励
来賓の田中氏もスピーチ
経済人クラブ (西村太一
会長 第191回例会は、6月20
日に大阪新阪急ホテルで開催さ
れた。来賓に、畑下辰典・一軸
浩幸両名誉顧問、廣田君美名
誉教授、田中久仁雄校友会連
携プロデューサーの4氏を迎え
総勢60人が出席して総会と懇親
会形式で行われた。

総会では、22年度事業報告・
収支決算報告、監査報告、規約
改正案、新役員案も提案され、
全員一致で承認された。新役員
には、副会長に栗原照次郎氏
(昭35学商) (株) 栗原製作所
代表取締役、副代表幹事に志
水利達 (昭43学商) (株) 東光
商會代表取締役社長、生田圭
一 (昭43学経) (株) 大松代表
取締役社長、村上康司 (平6
学法) の3氏が就任した。

懇親会は、畑下名誉顧問の乾
杯の音頭で始まり、各新役員の
就任挨拶、出席会員からの活動
報告や会員の仕事の紹介等が行
われ、村上副代表幹事から、新
入会員、特別参加12人の紹介が
あり、各人からスピーチがあつ
た。

廣田名誉教授からは「若手に
贈る激励の言葉」として、①心



理学における権勢症候群 (シン
ドローム) 甘やかされ育てられ
俺が一番偉いのだと、自分が権
勢をもっている病氣。政界・学
校・家庭にはびこっている。②
航空兵力2乗論について (ラン
チェスターの戦略) 1機当たり
受けている攻撃量が相手兵力の
2乗になるため、2倍の兵力は
4倍、3倍の兵力比は9倍とい
う差が開いてしまふ。について
「若者がリーダーシップ論を勉強
して、つぶれない日本を構築し
ましょう」と心強い言葉をいた
だいた。

田中連携プロデューサーから
は、連携プロデューサーの役割
について、①多種多様な企業が
参画する出合いの場の仕組みづ
くり、②大学と持続性のある交
流・連携の蓄積に向けたしかけ
づくり、③企業と大学が研究あ
るいは開発のロードマップを共

有したことがつくりが述べられた。
時の経つのを忘れ、会員同士
の熱気ある充実した懇親・懇談
ができたことを心からお礼申し
上げます。「千里の道も一歩か
ら、未来は今日の積み重ね」。

(代表幹事 田合邦臣
(校友会事務局気付) 06-63
68-0041)

強いモノづくりにつき
TTN辻野社長が講演
経済人クラブ若手会 不動
産・建築部会 (KURC) (川
端康平部会長) の第4回勉強会
が、経済人クラブ若手会との合
同交流会として5月17日にホテ
ル阪急インターナショナルで開
催された。

勉強会には36人が参加し、今
や業界でトップの業績を誇る
TTNコーポレーションの4代
目辻野福三郎社長に不況の中で
売り上げを伸ばすTTN流のビ



ジネスモデルについてお話しし
ただいた。

辻野社長は、豊の歴史から話
を始め、豊の需要が減っていく
中で売り上げを伸ばすために品
質の向上や生産ラインの見直し
等に力を注ぎ、自社のTTN農
園でいぐさを生産し独自で残留
農薬をゼロにする努力など『強

いモノづくり』をテーマに会社を改革したことを説明。また、24時間稼働や一般のマーケットの拡大、支店展開など、お客様を大切に、いかに他社との差別化を図ってきたかなど、様々な分野に共通する話を、途中『ガイアの夜明け』のビデオを交えて具体的に話された。

懇親会は紀和隆氏（39工機）による乾杯の音頭で始まり、途中歓談の中、講演いただいた辻野社長の奥様でもある辻野専務のご挨拶や初参加者の自己紹介などもあり、大変盛り上がった。最後は谷口欣久（61工建）KURC幹事の指揮により追遠歌の合唱で終了した。

なお、勉強会の様子はホームページにも掲載しているので、ご覧ください。

<http://ku-keizaijclub.jp>

今回は8月9日（火）同会場にて高齢者住宅シニアコンサルト倉田敦夫氏をお招きし、勉強会を開催します。
（副幹事長 楠隆夫 平9工建）
（半野司法書士事務所 06-480-1320）

hanno-1320@mbj.nifty.com

新入職員歓迎行事開催 ボウリング大会と親睦会

5月30日に西宮市役所秀麗会（福井雄一会長）では、第5回西宮市長杯争奪戦「秀麗会新



入職員歓迎ボウリング大会を、総勢35人の参加者にて西宮市内にあるボウルマトで開催した。ボウリング大会終了後、中華料理「龍王軒」にて表彰式を兼

退任の田中義昭会長に花束を贈呈 現役学生の演舞・演奏で盛り上がり

6月25日、千里山キャンパスの校友・父母会館会議室で応援団OB千成会（田中義昭会長）平成23年度の総会が開かれた。

88代浅田泰人君の指揮で国歌を斉唱の後、田中会長の挨拶に始まり、22年度の事業報告、会計報告、23年度の事業予定案、予算案が審議され、原案通り承認された。続いての役員人事、スタッフ人事についても原案通り承認された。最後に現役の状

ねた親睦会を行い、西宮支部から中川経夫支部長と小坂圭一幹事長のご出席をいただき、河野昌弘市長をはじめ総勢40人を超える参加者で大いに盛り上がり、ボウリング大会優勝者には、河野市長（写真右）から直接市長杯が手渡された。

このボウリング大会と親睦会は、第1回目から若手職員により企画・進行する行事としており、今回も新入職員7人（全員）を含め多数の若手職員の参加があり、楽しく笑いの絶えない場となり、これからの秀麗会の明るさを予感させる行事となった。

（幹事 向井宣彦）
（福祉総括室法人指導グループ・笠井忠 0798-35-3045）

況が報告され、今年度の新入部員の数が少ないため、スタッフ、OB挙げて新入部員の勧誘に協力することを決め、総会を終了した。

引き続き、正午から上原理事長、楠見学長、寺内校友会会長をはじめ来賓23人、OB47人、現役38人の計108人が出席して懇親会が開催された。
来賓挨拶に続き、総会にて退任が報告された田中会長に花束

を贈呈し、今までの功績に対し感謝の意を表した。続いて退任スタッフの村井智史コーチには感謝状と記念品が、現役には援助金が、それぞれ中川経夫会長代行から贈呈され、会場は温かな拍手に包まれた。

そして、三木憲三先輩の乾杯の後、歓談となると、あちこちからにわかに賑やかな話し声があがった。

途中、現役学生のリーダー、チア、吹奏のアトラクションがあり、会場は大いに盛り上がりを見せた。

私自身も、先輩方と久々にお会いでき、近況報告と共に非常に楽しく歓談させていただいた。世代は違えども、われわれは同じ応援団活動をしてきた仲間であり、それは、学歌斉唱の際に



皆背筋を正されていた事からも感じられた。
今後とも、OB千成会への貢献を通して各方面への力となれるよう、微力ながら尽力していきたいと思っている。

（88代幹事 辻本剛健）
（田中正喜 06-6499-1948）

林家染太さんが講演 「英語と私の落語人生」

天六同友会（寺岡源司会長）の第38回総会が、6月18日に関西大学校友・父母会館において、本部から古川好男副会長、盟友団体であるスポーツマンクラブ並びに応援団OB長柄会代表を来賓に迎え、35人の会員が出席して行われた。

総会は、3部構成で、第1部では22年度の事業報告・会計報告の承認の後、23年度の事業計画が承認された。

第2部は、校友である落語家林家染太さんを迎え、「英語と私の落語人生」と題した講演で会場が大いに盛り上がった。染太さんは、落語家として日本で活躍する傍ら、在学中から始めた英語落語でアメリカ各地やロンドンでの海外公演を行い、大成功を収めているが、その際のエピソードを面白おかしく披露。その後の落語と南京玉すだれでも会場を沸かせてくれた。

**幅広い年代の女性75人集う
伝統食に関する講演を聞く**
女子秀麗会（仁井ひろみ会長）総会が、6月26日にシティプラザ大阪で開催された。母校から寺内俊太郎校友会長、上原洋允理事長、楠見晴重学長をはじめ多くの来賓と、昭和25年か

第3部の懇親会は、100周年記念会館の「紫紺」に場所を移し、来賓を代表して古川校友会副会長の挨拶の後、畑下辰典氏の発声による乾杯でスタート。会員の近況報告やスピーチ、各テーブルでの話も盛り上がり、2時間程の予定時間は、瞬く間に過ぎてしまった。最後は、来賓の長柄会、高副会長のリードで逍遙歌を全員で熱唱して幕を閉じた。
（寺岡源司 06-6954-9788）
（大野雅司）



ら平成15年卒業までの幅広い年齢の女子校友75人が出席した。総会では、楠見学長の祝辞で、女子学生が4割を超え、卒業式での学部総代の過半数を女子学生が占めるなど女性の存在感が増しており、今後とも女子秀麗会の活躍が期待されると頼もしいお言葉をいただいた。
第2部講演会では、北九州市立大学講師で中国食文化研究家の板谷秀子さん（昭49学文）の「日本の伝統食を受け継ぐということ」と題した日本人の「米・みそ・茶」の三本柱の食歴や自身の家族の体験もまじえた迫力満点のお話を聞いた。つつい引き込まれて、一家団欒の機会が激減しているといわ



れる現在、日常の食は、各人が選択し責任を持って食べなければならぬと改めて考えさせられた。
第3部懇親会は、講演会の余韻もあり終始和やかな雰囲気、楽しい時間は瞬く間に過ぎた。最後に逍遙歌を高らかに歌い、西野副会長の閉会の挨拶で、次の再会を約して散会した。
（仁井ひろみ 06-6922-6806）
（花井美世子）

談論風発で年齢感せず 37回目の総会に12人

残念ながら小雨が降る中、遠方鎌倉より森茂生君、静岡から河内利次君を初め、久しぶり出席の今井弘君（関大名誉教授）を含め12人が集まり、物故会員、東日本大震災被災者に黙祷を捧げ、1年の経過報告の後、会食を共にした。
酒が入って談論風発、各自の近況、感想を自由に語り、82歳から85歳の年齢を感じることもなく、学生時代の思い出も多く、ダンスが始まったころ自分はどうしたか等、愉快的披露もあった。
集合写真を撮り、雨の止んだ午後4時、来年を約して散会した。
（畑下辰典）
（畑下公認会計士事務所 06-6773-3871）

**卒業25周年記念懇親会
各人思い出の一品を披露**
関西大学六一会（応援団・体育会各部昭61卒同期、今泉昭彦会長）の卒業25周年記念懇親会が定例の「六月第一」土曜の6月4日、大阪・TOP30に30余人が出席して開催された。
遠隔地より、三重から応援団長であった松井信幸、高知から藤川誉（ハンドボール）、東京から長久佳浩（器械体操）を迎え、南勝己（野球）の司会で開会。高知から駆けつけてくれた

**関大校友の「結婚」を
お手伝いしています。**



人生のパートナー探しましょう！

1年コース新設！ 申込金 12,000円

男性諸氏は
チャンス！

関西大学女子秀麗会
結婚相談所

URARA

29年の実績

☆申込資格

- 校友会会員およびその子弟
- 校友会会員の責任ある紹介を受けた人

☆相談日と相談時間 毎月第1・第3土曜日 午後1時～4時

（但し、受付は午後3時30分まで。1月第1、8月第1・第3土曜日は休み）

☆場所 関西大学天六キャンパス

地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋6丁目」駅下車、⑤号出口徒歩約5分

■お問い合わせ・資料請求 仁井ひろみ方 TEL (06) 6925-1821
FAX (06) 6925-1823

●ホームページ
（詳細はこちらで）

関西大学女子秀麗会

検索



荻谷正人（應援團）指揮による学歌斉唱、今泉昭彦会長（体育会本部）が開会挨拶。「六一会に集う。理由は無い」と述べた。学生時代を思い出す一品を持ち寄ることになっており、合格通知書、学生証、関大スポーツ紙、後夜祭での写真など、25年前にリセットしながらその思いを披露と近況報告で大賑わい。記念品は、和泉で井阪硝子製作所を営む井阪浩明（器械体操）がクリスタルガラスに学章と六一会を刻んだ特製の携帯ストラップを提供いただいた。松井団長で応援歌、荻谷副団長で関大マグマ、最後は逍遙歌を合唱した。下條芳浩（野球）実行委員長の開会挨拶で「これから毎年開催するが、5年後の卒業30周年記念懇親会に向けて始動する」と締めた。あっという間の25年、4半世紀、これからはなによりも健顔が一番。

（事務局長 谷口欣久・桑道部）
URL <http://www2.kandai-kyotika.com/al/ku61/>
メール ku1886@nifty.com

元気な後期高齢者 学園の変貌に驚く

新聞会OB・OG会は毎年1回開催しているが、今年には会員の一軸浩幸校友会前会長の薦めもあって、4月3日に母校での開催となった。

83歳を筆頭に大半の方は後期高齢者だが、皆さん久しぶりに元気な姿で出席され、千里山キヤンプスの変わりように驚いたり、学内で道に迷ったりしていた。

当日、衣笠周司氏（34法）から貴重な資料をいただいた。「関西大学新聞復刊1000号記念誌」（昭和29年発行、66ページ）で、関西大学の偉大な歴史が克明に掲載されている。

「関大の過去と未来」のページでは創始時代・明治末期・大正時代の記述。児島惟謙「その生涯をたどる」「学問の自由のための抵抗史」「日本の民主化闘争の一環として」（小山弘建氏、当時の岩崎学長の「学園の将来を語る」、4学部長の「学部現状と将来」などだ。

またこの日、枚方支部から阿部支部長らの表敬訪問を受け、赤井克也副幹事長のマジックを

披露していただいて交流を図った。

在学中、新聞会で活動されていた方は、世話役の片岡博巳幹事（34経）（電話・FAX 075-212-7610）まで連絡ください。（大谷豊一 35経）

5時間のテニスにも元気 総会・懇親会も大盛況

イエローサブマリンテニスクラブOB総会が6月4日に開催された。

1部はテニス、2部は総会・懇親会の日程で、テニスは相川テニスプラザ。予約が1面しか取れず、開催時間を繰り上げ12時から17時の開催とした。

今でもテニスをやっておられるOBが多いのか、現役以上に、また現役時代以上にナイスボールを打たれていた。練習の後はショートゲームを多く行い、ナイスプレーが続出。1面でも効率良くプレーでき、また5時間のテニスに疲れも見せず元気イッパイのOBだった。

テニスの後は場所を移動し、おだいご十三店でOB 20人と現役3回生の参加のもと総会、懇親会を開催した。

物故会員への黙祷の後、潤井さんから会計報告、予算案等の説明があり、満場一致で承認。また、34代の学年世話役には三好君が推薦され、次年度は35周



年のため記念行事として学園祭でOB会を行ってはどうかなど話し合われた。

今回はゲストとして、昨年の日本テニス協会JOPランキング55歳以上シングルス日本一の中嶋勤成さんをお招きし、テニスに関するQ&Aを行い、現役からは熱心な質問が飛び交いました。

お待ちかねの大懇親会。つくば市より参加の中村紀章さんの乾杯で賑やかに始まった。

1期の山手さんから36期の現役まで、いろいろな年代のOBが参加。女性OG 5人は、各テーブルからひっぱりだこ。大いに盛り上がりつつあった。いつの間にか時間が過ぎ、中締め時間に。全員で肩を組み、応援歌を大合唱。次回の再会を誓い散会となった。（潤井 寛）

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO-14001



OHSAS-18001





長崎が初参加し、8支部で対抗戦 優勝 佐賀、2位福岡、3位北九州

6月4日、恒例の九州・山口・広島支部対抗ゴルフ大会が、好天のもと西日本カントリークラブで開催された。第15回目となり、運営担当の北九州支部をはじめ福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、山口、広島の8支部が参加、総勢51人の盛会となった。長崎支部の初参加と女性2人の参加は特筆できる。

賀、準優勝福岡に次ぎ、強豪広島、大分をおさえて第3位となった。

懇親会は、成績発表や余興で大いに盛り上がりを見せた。中でも女性プレーヤーの一人は、ドラゴン賞、ニアピン賞を獲得され、改めて女性パワーの台頭に驚かされた。

今大会は、初参加支部や女性の参加など、次の大会に楽しみが広がる意義深いものとなった。

（北九州支部 高垣正史）

柏原支部が団体優勝 個人は松原・北田氏

第53回河内地区支部対抗ゴルフコンペが、4月28日に奈良県五條市のシプレカントリークラブで、柏原・平野・東大阪・松原・八尾・河内長野（今回コンペのホスト支部）の各支部校友37人の参加で開催された。

コンペは個人・団体戦で行い、個人優勝は北田氏（松原）、2位北野氏（平野）、3位至田氏（柏原）の順位になった。

団体戦は、各支部のネットスコアの上位4人の合計スコアで競い、結果は柏原支部が見事優



勝した。ホスト支部の河内長野支部も優勝目指して健闘したが惜しくも僅差で優勝はできなかった。

支部対抗コンペは春・秋の年2回の開催で、お互いコンペに参加できる健康に感謝し、懇親を深めている。次回は東大阪支部のホストで10月に開催する。

（河内長野支部 後藤幹雄）

3団体合同ゴルフコンペ 窪岡相弘氏が優勝飾る

6月9日、梅雨の晴れ間の絶好のゴルフ日和となり、第14回3団体合同ゴルフコンペが、愛宕原ゴルフクラブで開催された。

3団体とは、学生時代を一部で過ごしたOB会で、スポーツマンクラブ、天六同友会、応援団OB長柄会の組織で構成。毎

年、3団体が交代で幹事を務め、今年には応援団OB長柄会（大谷啓二会長）が担当の年でした。

総勢54人の参加をいただいた結果、優勝はスポーツマンクラブの窪岡相弘先輩（43・43、HD17・21ネット68・8）、準優勝、ベストクロス賞に

応援団OB長柄会の馬淵純一先輩（42・3779）となり、ベストクロス賞に輝いた馬淵先輩はあまりの出来事に信じられない様子でした。

表彰式も和気あいあいと進められ、校友会本部から参加いただいた古川副会長はじめ、森本先輩、小坂先輩等から「このように楽しい会が、未永く続けられるように」との言葉を一様にいただきました。

私は、このコンペでは数少ない平成卒業ですが、この会が未永く続くために多くの諸先輩、後輩の方々の参加を、切にお願いいたします。

来年は、6月7日（木）、同じく愛宕原ゴルフクラブで実施される予定です。

ゴルフと言うスポーツを通じて、年代を超えた異業種交流の場として、楽しい一日を過ごすことができればと思っています。



（応援団OB長柄会広報副部長 戸高憲司 平6経

28〜63卒の17人が参加 雨にも降られずプレイ

5月26日に河内長野支部（榎本正人支部長）の37回目のゴルフコンペをシプレカントリークラブで開催した。支部では春

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型薯蕷(上用)謹製

和洋菓子司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
代表取締役 山本雅己(S53学1法卒)

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会長賞





(5月)・秋(11月)の年2回開催し、校友同士の親睦を深めている。

今回は、2人の初参加があり、28年卒から63年卒の幅広い世代の17人のコンペとなった。結果は、優勝武田氏、準優勝池田氏(初参加)、3位池本氏。

当日は朝から雨の心配をしていたが、日頃の行いの良い校友ばかりで天気も降雨をじっと我慢してくれていたようだ。表彰式を終え岐路に着くときには雨が降りだし、お天気に恵まれた一日だった。次回は11月の予定。
(幹事 後藤幹雄
後藤幹雄 090-3031-0422)

3支部合同で賑やかに 倉田池田市長も参加

池田支部(古川智支部長)ゴルフコンペを5月21日、池田カントリークラブで開催した。平成10年に始めて、今年13年目を重ねること28回になった。



毎年春と秋に開催しているが、今年も地域校友との集いを兼ねて、川西支部と箕面支部、また校友の倉田薫池田市長にも参加していただき、3支部合同で賑やかに楽しく開催した。

参加者は21人で、優勝は池田支部顧問の林克彦氏、2位は池田・角田明義氏、3位は池田・角谷憲昭氏であった。
次は、秋に恒例の小豆島遠征で1泊2日の2プレーを予定している。
(幹事 角田明義
古川智 072-751-2662)

総勢30人が腕を競う Wコンペでより熱戦に

4月21日、第27回川西支部・支部長杯ゴルフコンペが、有馬富士CCで、池田、箕面、豊中各支部の参加をいただき、総勢30人で開催された。
数日前からの心配をよそに、



当日は文句の付けようの無い素晴らしい好天に恵まれ、和やかな雰囲気の中で日頃の腕を競い親睦を深めた。

この日は「支配人感謝オープンコンペ」と重なり、ダブルコンペとなり一層競技に拍車がかかった。

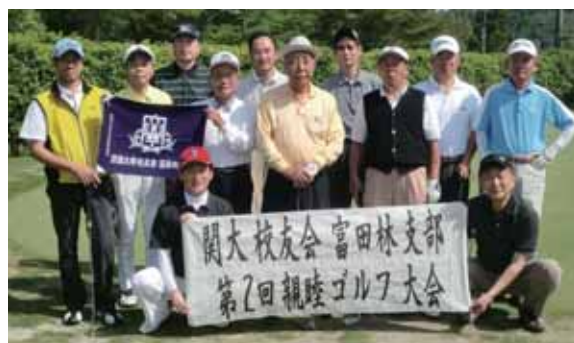
プレー終了後、クラブハウス内において表彰式が行われ、水口名誉支部長から優勝の近藤康雄氏(43経)に対し、栄ある支部長杯と副賞が皆の拍手のもと授与された。

懇親会では、当日のプレーの反省や、雑談に花が咲き、次回秋の大会での再会を期しコースを後にした。

ゴルフ愛好会代表幹事 山下清景

球運に恵まれたお陰 優勝桂川氏コメント

富田林支部(杉多弘至支部



長)ゴルフクラブでは、第2回親睦ゴルフ大会を5月22日、吉野カントリークラブで開催した。参加者は12人。杉多支部長から寄贈された特大の『優勝トロフィー』をめざし日頃から鍛えた力と技を競い合った。

支部長の始球式に次いで3組でスタート。18ホール熱戦の結果、優勝は桂川恵次氏(43法)。「優勝はいい雰囲気プレーできたことと球運に恵まれたラッキーのお陰、やはり優勝は嬉しい」と控えめのコメント。

準優勝は谷口昇氏(33法)で86のベスグロも。往年の実力を発揮、平素の精進の賜。

現在、入会者は29人。次回開催は11月の予定。(筒井孝二)
(野島努 0721-23-3190)



実力発揮し瀧川氏優勝 14人参加で第39回大会

吹田支部(奥谷英夫支部長)の第39回親睦ゴルフ大会は、5月15日に宝塚市のスポーツニッポンカントリー倶楽部で開催され、14人が参加。和やかに且つ日頃の腕を発揮しようと真剣にプレーを繰り広げた。

結果、優勝は当日のベストグロスと実力を発揮した瀧川紀征氏が獲得、準優勝は小寺敬吾氏、3位は大倉幾三郎氏(ゴルフ担当副支部長)だった。

懇親会で、大倉副支部長は「春秋年2回の開催ながら、早くも20年。次回は第40回の節目の大会になるので、多くの参加者を集めて盛大に開催したい」と協力をお願いした。
因みに次回は、11月6日の日

曜日に開催する。場所等詳細は未定。
(副幹事長 成岡昭二)

(日隆産業・谷康司) 06-6329-4424

校友トピックス

たこ昌・

山路昌彦会長らが被災地であつあつ

たこ焼き提供

「大阪出るとき連れてって」

♪のコーシヤルでお馴染み「元祖たこ昌」の山路昌彦会長(昭38学文、前大阪狭山支部長)らが、4月22日から6日間、東日本大震災の被災地をまわり、11カ所であつあつのたこ焼きをふるまい、被災者に喜ばれた。

阪神・淡路大震災の時もたこ焼き支援を行った山路会長。何とかしたいと思いつつも、今回は距離的にも遠く、現地の事情もよくわからないまま日々が過ぎていたが、4月19日に「大阪のおばちゃん、テレビでは本当の現実は見えません。見に来てください。そして大阪のおばちゃんの元気をください」との手紙が会社に届き、東北でのたこ焼き支援を決断。

得意先のつてをたどり、宮城県の中小企業同友会会員を紹介してもらい、早速訪問することになった。出発までの短期間に、「たこ焼き、つゆ、ねぎ、



容器、機材一式、発電機、布団、食料、水200容器55本等々の準備を整え、知り合いの弁護士、建築設計会社社長、山路会長と社員3人の6人で、22日夜9時に3トトラック2台で出発。北陸道回りで被災地に向かった。途中、運転できる4人が交代しながら、サービスエリアで小休憩と給油を行い、約15時間後の23日昼ころ仙台市の紹介された会社に着。

「まず被災地の現場を見て、その後実際に生活されている避難所へ行きましょう」との勧めで、市内で最も被害の大きかった若林地区へ。そこで6人は言葉も出ないほどのショックを受



け、ただ呆然と立ち尽くすだけだった。現場を実際に肌で感じ、表現のしようのない凄さに震え、犠牲者の冥福を祈るのみで、目からはいつの間にか涙がこぼれていたという。

早速、避難施設に向かい、23日は名取文化会館と多賀城公民館で、あつあつの「たこ焼き」と「あんかけたこ焼き」を作った。24日は仙台市若林区の中学校2校、25日は石巻市の3カ所、26日は南三陸町と気仙沼市の4カ所の計11カ所を回ったが、どこでも長い行列ができ、喜んで食べて貰えたことに、うれしさとやりがいを感じたとのこと。また、多くのボランティアの協力で何一つトラブルもなく11カ所を回れたのも嬉しかった。

被災地でのたこ焼き行脚を終

えた山路会長は、「東北の人は温かい。助け合う心は素晴らしい。これからも人と人の繋がりがや優しさを大切にしていきたい」と語り、「大阪からも応援していますよ!東北の皆さんがんばって!」とエールをおくっていた。

「地方の時代」

映画祭グランプリ番組
モンテカルロ・

テレビ祭で最優秀賞に

昨年11月に千里山キャンパスで開催された第30回「地方の時代」映像祭で、196本のコンクール参加作品の中からグランプリに輝いた中部日本放送制作の「笑ってさよなら〜四畳半下請け工場の日々〜」(プロデューサー・西田征広)平13学社)の英語版が、2011モンテカルロ・テレビジョン・フェスティバル(モンテカルロ・テレビ祭)のニュースドキュメンタリー部門で最優秀賞(ゴールデンニフ賞)を受賞した。

モンテカルロ・テレビ祭は、モナコ公国が主催するテレビ番組の国際的なコンクールで、世界4大映像祭の一つに数えられている。



お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています

高槻の隣り町 島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)



血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかつたA1C値!」
今回、やっと下げるモノが見つかりました!と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳細資料・改善データを無料でお送りいたします。
特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

えんしよ 燕子掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

資料無料送付

苗村七郎先輩と万世特攻慰霊碑



燧下 辰典

1、はしがき

苗村七郎先輩が心血を注いで、万世飛行場から飛び立った特攻隊員慰霊のため、昭和57年設置され除幕後第1回の万世特攻慰霊碑慰霊祭を始めて今年第40回の慰霊祭を迎えた。年初参加を呼びかけられ、役職の関係で、果たせなかった万世行を決心し、4月24日の前日到着するよう航空券を予約購入した。

しかるに不運にも3月1日腰椎圧迫骨折をやり緊急入院、2ヶ月の安静を命ぜられた。しかし、40日弱の入院で済ませ4月8日退院し、自宅リハビリと歩行訓練をやり乍ら調整し、15日後の4月23日同行の学友宮道伊佐美さん(学部27年会副会長)との約束も守り、午前の便で鹿児島へ飛び立った。

前夜祭となる慰霊碑献灯祭(校友会有志で灯籠を1基寄贈している)と遺族関係者との交流会にも苗村先輩と同席でき、翌24日、万世特攻慰霊碑第40回慰霊祭の荘重な祭典に一般参加者として宮道さんと椅子を並べた。

午後1時の開会と時刻を合わせ、海上自衛隊鹿屋基地を飛翔した慰霊飛行機が、慰霊碑の上空を飛んで開会となった。遺族(19柱67人)旧隊員の多くの氏名が紹介された。奉賛会副会長の開式のことばに続いて陸上自衛隊音楽隊の演奏により国旗掲揚、全員慰霊碑に黙祷、追悼の言葉を奉賛会副会長が述べられ、慰霊の言葉を戦友代表として苗村さんが

切々と兄らと呼びかけ、緊迫した現在にもこの地にありて日本を守れ御霊よ安らかなれと慰霊の念を捧げられて感動を与えられた。

遺族代表は、祈念館に血書を掲げられている竹内貞一少尉の弟竹内久安氏が立たれ、特攻飛行の数日前、東京を訪れた二階の部屋で亡き母と2時間を対座、任地に着かれた話には泣かされた。

亡き竹内少尉は大正15年生まれの少年飛行兵出身伍長であり、当時19歳であった。

献詠は、15名による錦城会諸氏の詩吟で朗々と吟じられ、遺族を始め参列者の献花、慰霊碑に戦友の方々からの献酒、音楽隊の献奏、陸上自衛隊音楽隊に対する感謝状、献灯者への感謝状贈呈と南さつま市長挨拶があり、若者の誓いとして全近畿学生文化会議から学生が立ち、この事実を語り伝え風化させないよう特攻の至純の心を受けついで行くこと述べた。音楽隊の演奏で同期の櫻、加藤隼戦闘隊の歌を合唱し、国旗降納、閉会の言葉まで丁度2時間。しかし時間の長さを感じなかった。本当に痺れる感動の時間を体験させて貰った。この機会に表題の諸点について、まとめてみたいと思う。

2、苗村七郎先輩

苗村さんは今年92歳。大正10年大阪の生まれで、7人兄弟の末子で七男である。昭和18年当時すでに三男は陸軍少

尉、五男、六男は見習士官で厳しい戦局の中とはいえ、軍人一家であった。

先輩は、昭和14年関西大学予科に入學するや阪神飛行訓練所の練習生であり、経済学部に入學後関大航空部主将となり、関西学連のパイロットとして経験を積み、昭和18年関西航空連盟の日本一周飛行に選ばれた4人の学生のうち唯一の関大生であり、3500km翔破した記録保持者となり「学鷲本土一周飛行」としてニュースになった。

大東亜戦争の諸戦大勝利も、一年有半戦局の厳しさが増し、18年は徴兵猶予の大学、高専学生に対し、昭和19年3月卒業生をすべて18年9月卒業として猶予撤廃即入隊となった。因みに18年から徴兵検査は19歳に繰下げ、19年には18歳、20年には17歳で検査をうけ、20年を除きその年に入隊している。

先輩は入隊決定の時、神戸正雄学長から、武運長久為苗村七郎君の日章旗の寄せ書を頂戴、その中には後の学長となられた正井敬次、岩崎卯一、森川太郎、矢口孝次郎各先生を始め28名の連署があり、入隊後、転進する地に必携しフィリピンにも携帯している(この日章旗は関大年史資料室に寄託されている)。昭和18年10月陸軍航空隊として入隊し、内地勤務の昭和19年3月フィリピン戦線に参加、6月陸軍少尉に任官し、内地帰任を命ぜられる。任地は転々として昭和20年3月陸軍最後の特攻基地に着任。



苗村七郎先輩を中央に宮道伊佐美君(左)と筆者

日本三大砂丘の一つ吹上浜に続く松林の中に作られた飛行場は、知覧よりやや西北の海辺に近い万世町にある。

先輩も2度特攻志願したが教導のため容れられず、次々と集る特攻隊員を一機また一機と送り出す立場となり、201柱を失った。

平成5年苗村さんが建立した南涙の碑、「天地何不仁」の裏面に「生きてしあらば、青雲の志に燃え、祖国の興隆に翔いたであらう若者に、国の危急存亡の時、操縦桿を握らせ、あたら南涙に散華せしめた。この哀惜、痛恨を後世に伝う。苗村七郎撰 表碑の文とも今井陵雪書」

終戦により軍務解除となった先輩の心にはこの念が強く刻まれ、戦後混乱に行き抜くことに懸命しながら15年が経過した昭和35年鹿児島県万世町を訪れ、隊員が出発前夜を過ごした旅館飛龍荘の主人山下藤吉さん、ソヨさん夫婦と夜を徹して語り、亡き戦友の冥福を祈り、小

さな碑でも建てたいとの先輩の提案に夫婦も同意された。

名簿を集めは並大抵でなく、判った遺族に手紙を出すも、なしの礫、労多くして募金も集らないまま、10年を過ぎ、昭和45年再度加世田市となった万世町を訪れたが、山下老人も死去され、市長選挙の真最中、思案の末市役所へ飛び込み、収入役、庶務課長に慰霊碑を建てて欲しいと直訴したが、当惑されているとき、

ソヨさんが鹿児島市から今来ているとの情報が入り、役所で逢い、ソヨさんが特攻隊の飛行機がこの地から出撃した状況を縷々説明され、市当局も漸くその事情がわかった。先輩はその時のお金30万円を差出し、「亡き戦友の霊を慰めたい」ということが鹿児島新報に掲載され、当時の模様を報じ「一人でも多くの戦友と遺族の情報を知りたい。慰霊碑をつくりたい」と呼びかけてくれた。これがきっかけで加世田市に協力者が現れ、慰霊碑建立期生会を設立し300万円目標の募金活動を各日刊紙も取上げ報道、そのお蔭で戦没者、生存者も次々判明し遺族

も判明してきたので苗村さんの全国行脚が始まった。遺族宅を訪れ、拝礼して手記、写真、遺品等を収集、寄託を受けるようにつとめられた。航空隊員は「最後に飛び立ったところ、最後に爆装した飛行場こそ本当の意味での戦死した場所である」として、万世町旧飛行場営門跡150mの地点を建立の場所として、慰霊碑が建築されることになった。

3、万世特攻慰霊碑

苗村さんらの努力により320万円の浄財を得て、405万円で慰霊碑が出来ることになり、碑は苗村さんの草案を新聞社友人に添削を得て碑文に「第二次大戦とみに悪化、風雲急を告げる昭和十九年、その帰趨は決定的段階を迎える。ここ加世田市吹上浜の地に、戦勢転換の神機を期する地元民、学徒ら軍民一致の協力によりて万世飛行場が建設さる。

本土防衛の基地、沖縄決戦の基地として、昭和二十年三月二十八日より終戦まで、陸軍特攻振武隊、飛行第六六戦隊、第五五戦隊の若き勇士は、祖国護持の礎たらんと

ここより雲表の彼方に飛び立つ。一機また一機と。征きて帰らざる

万世特攻慰霊碑（「よろずよに」の碑）

者あまた、或は空中に散華、或は自爆、壮絶にして悲絶、これを他に求められようか。至誠尽忠の志に燃える戦士は祖国に殉じたのである。血と涙によって平和はもたらされた。

ここにその勲を讀み、霊をとこしえに慰めん。

われら生き残りたる者と心ある住民は、英霊の偉勲を偲び、後世に伝えんためこれを建立す」

書は特操一期の日展恩賜賞の書道家今井凌雪先生の筆になる。

慰霊碑は高さ4・5メートル、幅1・1メートル、厚さ60センチの徳山産白みかげの荒石に、大空を仰ぐ等身大の陸軍飛行兵のレリーフがはめこまれ、その下に「よろずよに」という碑文が黒みかげ石に刻まれている。

4、万世特攻平和祈念館

苗村さんは昭和52年第6回慰霊祭のとき、前年発行された著書『よろずよに』を献本、コンクリート製「遺影堂」を寄贈して、収集、委託を受けた遺影、遺品を安置された。昭和57年特攻遺品館設置の要望が遺族から強まり、市有地に建てようとなった。

平成2年、慰霊奉賛会が募金1億円を掲げて活動に入り、新聞に掲載されたが、なかなか集らず、平成3年漸く1億円の募金が集ったが、加世田市が奉賛会の事業を承継し、2億5千万円を市が起債して、その合計で建設するため当初の「万世特攻遺品館」から名称を「加世田市平和祈念館」として平成4年8月25日起工式を行い、「複葉合掌型」のイメージを取り入れた建物となり平成5年5月完成した。加世田市は苗村さんに市長から感謝状を贈り、平和祈念館の監修者として遺影、遺品を掲げ、展示する目的を解説文の作成により明らかにした。

2年前加世田市と他の市町が合併して南さつま市となった機会に、加世田市と頭記されていた名称を「万世特攻平和

祈念館」とし、苗村さんを名誉館長に推戴した。

平成5年2冊目の『陸軍特攻基地』に続く3冊目の『陸軍最後の特攻基地』万世特攻隊員の遺書、遺影」が出版。戦死者の遺書等の集大成と苗村さんの執筆になる大著となる。戦後66年、第40回の慰霊祭に一回も欠かすことなく慰霊を続けられ、国内でも自衛隊への出講、大学・高校生の講演、現地での小中学生への語らいを始めとして特攻隊員の至純の心を訴え、祖国愛、弱い父母、弟妹を守るために自ら志願して国に殉じた若者の心の優しさを説明しつつおられる。

また、最後の本の英訳版の出版が行われ、大英軍事博物館に招待され、「特攻はテロに非ず、国と国との戦いに防衛は最大の攻撃として自ら志願して休戦たりはしたが、軍人と軍人の戦いで民間人を巻き込むことはしていない」と述べて賛同を受け、厚い握手を元将官と交され日本人の平和外交の一翼を担っておられる。また海外へも数多く出向かれ、各国の元軍人らと正論を主張し、同感を振げておられる。

5、おわりに

『日本の品格』で、品格書の第一人者として有名な藤原正彦先生の近著『日本人の誇り』に、失われた歴史を断絶させないこと、そのためには東京裁判の本質をよく知り、日本だけが侵略者という誤りを是正しないと日本人の誇りは回復しないというくだりがある。

今回の万世特攻慰霊碑の第40回慰霊祭に参加して、本当の姿を見失わないことが、真の日本の平和と誇りを保つことになると思ふものである。



新刊



大倉雄次郎（名誉教授）著
『パナソニックの大転換経営―環境革新企業とモノづくり立社への挑戦』

日刊工業新聞社 刊
定価1900円＋税



経営の歴史を振り返ってみると、長期的に成長する企業に共通して言えることは、環境の変化に対応して常に果敢に自己変革を行っていることである。エジソンを創業者とするGEも、その100年間以上にわたる歴史は変革の連続であった。松下幸之助を創業者とし、90余年の歴史を持つパナソニックもまた然りであった。売上高8兆7千億円、

従業員38万人（2010年度）という巨大企業にまで成長したパナソニックは、次にとどのような変革を成し遂げようとしているのであろうか。

本著は、会社勤務の経験を持ち公認会計士・税理士でもある著者が、トップマネジメントである大坪文雄社長（昭46院工）の経営戦略を網羅的、多角的に分析したものである。経営戦略とは、自社の持つ経営資源をどこに投下しどのよう

にグループとしての成長をはかるのかという成長戦略であり、現在のパナソニックのそれはフェーズチェンジ（大転換経営）として把握される。本著の特長の一つは、パナソニックが成し遂げようとしているフェーズチェンジを、大坪社長の言葉を多く引用することによって生き生きと現場感覚で描いていることであろう。

北村 英子（昭44院博國）著
『文脈語彙の研究―平安時代を中心に』

和泉書院 研究叢書
定価900円＋税



今春、大阪樟蔭女子大学の名誉教授となった著者が、長年研究してきた平安文学を中心にした形容詞語彙の中から(1)「あやなし」と「あいなし」、(2)「うるはし」、(3)「ゆかし」について、一書にまとめたものである。

「あとがき」に、「語彙研究をするにあたり、自分なりに全用例を用いる方法で究明したいという思いで、研究対象とする語彙を一行一行文脈をたどり一つ一つ探しつつ抄出しているうちに、語と語の繋がりがぐあい面白さ、一語に秘められた多くの意味、用法等にもますます魅せられていき……」とあるが、今回、本質が精確に掴みにくくとして精選した「うるはし」は、既

に上代から存在するため、この語の発生、発達、転移、変化の諸相、そして、その時代時代の通念や固有の様相、意味・用法等を『古事記』『万葉集』『竹取物語』『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』『大鏡』『狭衣物語』の作品ごとに全用例をつぶさに検討して解明している。

また、難語として取り上げた「あやなし」と「あいなし」については、使用頻度が高い『源氏物語』中の両語の用例をすべて抄出し、検討吟味、その差異を明らかにしている。さらに平安初期から使われはじめ、『源氏物語』や『枕草子』時代に隆盛を究めた語彙「ゆかし」については、両書と『落窪物語』から志向対象等を解明している。

膨大な時間を労した研究成果のまとめといえる一冊である。(S・N)

直宮 憲一（昭49院修史）著
『宝塚の歴史を歩く』

宝塚出版 刊
定価1239円＋税



「くもんの先生」募集中

くもんの先生は地域の子どもの成長と一緒に応援できる仕事です。「子どもに教えることができるか不安…」大丈夫です。私たちがサポートしますので、一緒に学んでいきましょう。子どもの能力を育み、自らも高めることができます。随時、「くもんの先生」説明会を実施しています。この機会にお気軽にご参加ください。

KUMON 日本公文教育研究会 近畿ゾーンリクルートチーム
〒532-8511 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館2階

やってみよう よいごと
☎0120-834-414

受付/9:30~17:30 (土・日・祝除く)

お問合せいただいた方には「くもんの先生」のことがわかるDVDを、説明会にご出席いただいた方には公文式のことにつながる書籍をプレゼントしております。

くもんの先生をはじめませんか
くもんの先生 検索

先生の体験談と説明会日程の検索、お申し込み、資料請求、お問い合わせはこちら



くもんの先生の仕事

- 教室は週2回（午後の5時間程度）
- 教科は算数・数学・英語・国語
- 収入は生徒数により異なります。（開設時に「開設認可料」105,000円が必要です）

応募の資格

50歳までの女性。
充実した研修制度があるので未経験でも安心です。（研修費無料）

ゲートから簡単アクセス



「くもんの先生」説明会受付中！

KUMONでは各地域で「くもんの先生」説明会を実施しています。



支部恒例事業の「宝塚の歴史を訪ねる会」の講師であり、宝塚の郷土史家である直宮憲一氏が、このたび全264ページの『宝塚の歴史を歩く』を自費出版された。

この著書は、宝塚市教育委員会会で文化財行政に38年間携わってこられた著者の豊富な経験と確かな見識により、石器の出土した縄文時代から住宅都市宝塚が形成される現代までの長い郷土の歴史を、文化、宗教、美術、人々の生活など幅広い視点から解説するとともに、宝塚を拓いた人、宝塚が育んだ人々等、宝塚の都市イメージ形成につながるものなど、盛りだくさんの内容となっている。

「宝塚の地名の由来」、「宝塚と街道」、「手塚治虫のこと」など25章から構成されており、それぞれの点としての歴史解説にとどまらず、広い視野からの記述はとても判りやすい内容で、詳細な資料と貴重な写真も興味深いものであり、一読をお薦めする。

なお、販売は宝塚市内書店のみなので、ご希望の方は支部事務局の塚本寿一税理士事務所（電話0797-85-1491）まで、平日の午前中にご連絡ください。料金は1460円（本価格1300円＋送料160円）です。

（宝塚支部長 兼丸秀樹）

櫻井 公（昭42学文新）著

『とべ！極貧 焼け跡力
モメの飛行』（伝承版）

JDC出版 刊
定価1600円＋税



「どうすればいいのか……」大きなピンチこそ、必ず大きなチャンスに変わる。敗戦後の日本全体がそうだった。ほんとうの幸せは、だいたい「極貧」というピンチから生まれる。「焼け跡力モメ」はそれを見てきた。

「大地震と大火事が、一緒になって襲ってきたようだった」。本書の書き出しの言葉で、戦中・戦後間もない焼け跡生活を著者は幼少に体験し、今日まで過ごしてきた65年を振り返りながら、個人も日本という国も確実に失ってしまったものは何かを、生活

体験を通して掘り起こしていく。

鳥の目線で見たとき自分とは何か。自身を、戦後の焼け野原から飛び立った一羽の力モメに喩えながら、飛んできた軌跡が真の幸せと呼べるものだったかを「一つひとつのモノやカタチ、事象をとらえながら検証。そこには、高度経済成長に煽られて私たちが忘れかけている「日本の原風景」が見えてくる。その中で、気づかないまま物質欲に支配されて肥大化した「ブタカモメ」や、心を失ってしまった「ロボツカモメ」の存在に気づかせてくれる。

焼け野原から飛び立った力モメの本来飛行すべきだった軌跡は、相対的なモノやカタチだけにあるのではない。真の飛行ルートを指し示す標識は心の中にこそあるのでは、と本書は締めくくっている。

東日本大震災が起こる数カ月前に本の原稿が出来上がったという。第二の戦後、と言われる大震災の現状に、「幸福参考書」と副題の付けられた本書を重ねれば、未来に向かって歩く私たちや国が忘れてはいけないもの、また「真の幸福とは何か」のヒントが見えてくる。

（情報紙「淀川散歩」編集長 佐々木博史）

校友短信

◇愛知県議会議員に高桑敏直氏が初当選 4月10日投票。高桑敏直氏（たかくわ・としなお）昭57学法）は、元岩倉市議会議員で、今回、減税日本一愛知の会から立候補、初当選を果たした。52歳。

◇丸亀市議会議員に横田隼人氏が就任 4月26日の臨時議会で選出。横田隼人氏（よこた・はやと）昭58学経）は、旧丸亀市議を2期務めた後、平成17年から丸亀市議。現在2期目。平成20年4月から1年間議長を務めている。51歳。

◇池田市議会議員に渡辺千芳氏が就任 5月16日の臨時議会で選出。渡辺千芳氏（わたなべ・ちよし）昭52学法）は、当選4回目で、議長は初めての就任。57歳。

◇和歌山県湯浅町副町長に中美二氏が就任 6月16日付。中美二氏（なか・よしじ）昭55学法・56学政）は、昭和62年5月／平成2年11月までと7年5月／19年4月まで15年7カ月にわたり町議会議員を務め、13年6月から15年4月までは議長を務めた。54歳。

◇山陽放送代表取締役社長に原憲一氏が就任 6月29日付。原憲一氏（はら・けんいち）昭45学商）は、昭和45年同社入社。ラジオ放送部、JNNカイロ支局長、報道制作局長等を経て、常務取締役番組統括ラジオセンター担当。64歳。なお、藤原隆昭社長（ふじわら・たかあき）昭43学法）は相談役に就任。

◇産経新聞社事務取締役大阪代表に倉井銃太郎氏が就任 6月22日付。倉井銃太郎氏（くらい・せんたろう）昭49学社）は、昭和49年同社入社。大阪販売局販売第一部長等を経て平成13年大阪販売局長・近畿圏本部長、16年取締役大阪販売局長。60歳。販売・SANKI EX PRES S・大阪関連会社担当を兼務。

◇岡山放送取締役東京支社長に津川薫氏就任 6月23日付。津川薫氏（つがわ・かおる）昭49学商）は、昭和49年同社入社。執行役員総務局長を経て取締役東京支社長担当。東京支社長委嘱。59歳。

◇PTマダムインドネシア Tbk社長に日比武志氏就任 4月20日付。日比武志氏（ひび・たけし）昭59学商）は51歳。PTマダムインドネシア Tbkは、1969年に設立された（株）マダムの現地合弁企業で、ジャカルタ証券取引所の上場企業。



会亡催し

掲載は、組織名、開催日時、場所
(会費、連絡先・電話番号)の順。

【本部関係】

- ▷平成23年度校友総会 10月16日(日)午後1時 千里山キャンパス第2学舎4号館「BIGホール100」
- ▷平成24年校友会新年互礼会 平成24年1月14日(土)午後6時 大阪新阪急ホテル
- ▷第98回定時代議員会 3月24日(土)午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館

【地域支部】

- ▷北九州支部総会 7月23日(土)午後6時半 リーガロイヤルホテル小倉(岩水秀一=080-1539-3833)
- ▷池田支部総会 7月28日(木)午後6時15分 池田市民文化会館(7,000円。古川智=072-751-2662)
- ▷富山県支部総会 7月30日(土)午前11時半 富山市・富山電気ビル(高橋正=080-3049-8273)
- ▷徳島支部総会 7月30日(土)午後4時 徳島市・そば蔵(貝出宏文=0883-24-0396)
- ▷熊本県支部総会 7月30日(土)午後7時 熊本ホテルキャッスル(祐水コンサルタント・宮田忠明=096-340-1167)
- ▷茨木支部総会 8月4日(木)午後6時半 ホテル阪急エキスポパーク(8,000円、23年3月新卒生は無料招待。年会費2,000円。小西盛人=072-632-7888)
- ▷福岡千里会総会 8月6日(土)午後6時半 グランド・ハイアット・福岡(安藤造園土木・白木成光=092-841-4141)
- ▷宮崎千里会総会 8月19日(金)午後6時半 宮崎市内(場所未定)(山口道雄=0985-22-7243)
- ▷鹿児島千里会総会 8月20日(土)午後5時半 鹿児島サンロイヤルホテル(時任博幸=099-264-7806)
- ▷長崎支部総会 8月26日(金)夕刻 場所未定(松尾一成=095-844-8405)
- ▷明石関大クラブ恒例バーベキューの集い 8月26日(金)午後6時 明石大蔵海岸公園(ふじもと法律事務所・藤本哲也=078-917-7481)
- ▷佐賀千里会総会 8月27日(土)午後6時 櫛庵治(ろあじ)(松永久光=0952-53-2190)
- ▷明石関大クラブ総会 9月3日(土)午後5時 グリーンヒルホテル明石(ふじもと法律事務所・藤本哲也=078-917-7481)
- ▷阿倍野支部総会 9月10日(土)午後6時 ホテル日航大阪・孔雀の間(松田商事・松田充弘=06-6622-5580)
- ▷尼崎支部総会 9月10日(土)午後6時半 ホテルニューアルカイク・鳳凰の間(田中正喜=06-6499-1948)
- ▷東播支部総会 9月14日(水)午後6時15分 加古川プラザホテル(角谷賢造=079-448-7142)
- ▷吹田支部総会 9月24日(土)午後2時 メイシアター(日隆産業・谷康司=06-6329-4424)
- ▷西宮支部総会 10月1日(土)午後6時 ノボテル甲子園(10,000円。栄興電機工業・小坂圭一=06-6491-5301)
- ▷川西支部総会 10月8日(土)午後6時 アステ川西6階大ホール(荒木敏雄=072-758-1787)

- ▷宝塚支部総会 10月8日(土)午後6時半 宝塚ホテル(塚本寿一=0797-85-1491)
- ▷香川支部総会 10月15日(土)午後5時 全日空ホテルクレメント高松(星タクシー・川崎有二=087-821-7070)
- ▷愛知東支部総会 10月16日(日)午前11時 ホテルアソシア豊橋(中村一雄=0532-62-8938)
- ▷愛知支部第99回総会 10月22日(土)午前11時 名古屋観光ホテル(知多工業・森田敏二=0562-33-5822)
- ▷西淀川支部総会 10月22日(土)午後5時 ホテルグランヴィア大阪・レストランアブ(西山正明=06-6474-8587)
- ▷首都圏支部連合会総会 10月29日(土)午後1時 関西大学東京センター(関西大学東京センター=03-3211-1670)
- ▷神崎支部総会 10月30日(日)午前10時 香寺荘(坂本喜則=079-227-3510)
- ▷愛知支部母校見学会 11月3日(祝)午前10時 千里山キャンパス(知多工業・森田敏二=0562-33-5822)
- ▷高石支部創立50周年記念総会 11月5日(土)時間・場所未定(尾崎義之=072-262-5378)
- ▷沖縄支部総会 11月11日(金)時間・場所未定(南西環境研究所・田中順一=098-835-0411)
- ▷生駒支部総会 11月13日(日)午後5時 近鉄生駒駅・メルヘン(藤後弘=0743-79-5157)
- ▷平野支部総会 11月19日(土)時間・場所未定(田中義信法律事務所・田中義信=06-6316-0348)

【職域会ほか団体】

- ▷関関OB写真展 7月21日(木)~30日(土)午前9時半~午後6時 大阪駅前第2ビル5階「大阪市生涯学習センターギャラリー」(光陵会・長谷裕達=072-332-2751)
- ▷経済人クラブ・酒蔵コンサート 9月17日(土)午後 神戸酒心館(校友会事務局=06-6368-0041)
- ▷関大法書会創設50周年記念総会 10月14日(金)午後6時半 大阪新阪急ホテル(尾島法律事務所=06-6363-2870)
- ▷応援団OB長柄会総会 10月15日(土)午後6時 大阪新阪急ホテル・花の間(中村司法書士事務所・中村博=06-6705-5678)
- ▷大阪家事調停協会関大会総会 10月21日(金)午後6時 プリムローズ大阪(鍋島均=072-221-5269)
- ▷体育会自転車部OB総会 10月下旬の土曜日 関西大学内で開催(詳細未定)(山本修平税理士事務所・山本修平=06-6362-0186)
- ▷三二会総会 11月5日(土)午後3時 校友・父母会館会議室(宇野稔=06-6356-0109)
- ▷司法書士関大会総会 11月18日(金)午後6時 大阪キャッスルホテル(中村司法書士事務所・中村博=06-6705-5678)
- ▷関大不動産鑑定士クラブ総会 11月19日(土)午後4時 100周年記念会館・レストラン紫紺(笠井不動産鑑定=06-6311-1205)
- ▷東京経済人倶楽部総会 11月28日(月)午後6時半 場所未定(関西大学東京センター=03-3211-1670)

お悔み申し上げます

(敬称略)

石坪貞雄(いしつぼ・さだお) 昭12大予2・15大法、元和歌山県立盲学校事務長、平成22年8月9日死去。93歳。和歌山市。

川上新太郎(かわかみ・しんたろう) 昭15大予2・17大法、平成22年8月13日死去。91歳。岡山市。

梶村武光(かじむら・たけみつ) 昭17大予2・21大法、9月22日死去。88歳。広島市。

田積 勇(たつみ・いさむ) 昭19専2法、社会保険労務士、10月14日死去。86歳。大阪市。

園田賢一(そのだ・けんいち) 昭46学法、元福山市役所勤務、10月28日死去。61歳。福山市。

中村博述(なかむら・ひろのぶ) 昭16専2法、18大法、元大阪税関輸出部次長、平成23年1月8日死去。90歳。大阪府泉南郡。

池田裕次(いけだ・ひろつぐ) 昭37学経、1月21日死去。71歳。大阪市。

山口省三郎(やまぐち・しょうさぶろう) 昭10専1商、2月21日死去。96歳。神戸市。

山崎植章(やまさき・ていしょう) 昭26専2経、八番館ビルオーナー、元校友会代議員、2月22日死去。84歳。川西市。

山本賢三(やまもと・けんぞう) 昭19大法、元萬年社代表取締役会長、元市川国際奨学金財団理事、元校友会代議員、元経済人クラブ会計幹事、3月2日死去。90歳。吹田市。

望月本克(もちづき・もととき) 昭41学法、3月31日死去。67歳。田辺市。

中嶋尚美(なかじま・なおみ) 旧姓赤穂、昭52学文、4月16日死去。57歳。大阪市。

仲地唯夫(なかつ・ただお) 昭25専1商・27学経、4月27日死去。83歳。泉佐野市。

芳野 博(よしの・ひろし) 昭32学経、芳野商店会長・元代表取締役、元北九州支部副支部長、元校友会代

議員) 5月17日死去。76歳。北九州市。

末吉崇暉(すえよし・たかあき) 元文学部教授、専攻はスポーツ運動学、5月19日死去。73歳。神戸市。

小島信勝(こしま・のぶかつ) 昭15二商・17専2法、弁護士、元広島高等検察庁検事長、二商同窓会会長、校友会代議員、5月19日死去。89歳。神戸市。

上田繁潔(うえだ・しげきよ) 昭17専2商・21大法、元学校法人関西大学理事長、5月20日死去。89歳。箕面市。

卒業後奈良県庁に奉職、財政課長、総務部長を経て副知事。昭和55年に知事に初当選し、2期目の昭和63年、県政100年の記念事業としてなら・シルクロード博覧会を開催。3期目途中の平成4年に健康問題などで辞任した。平成48年10月8日死去。91歳。法人評議員、理事長を務めた。

白藤 一郎(しらふじ・いちろう) 昭42学法、元文学部教授、専攻は剣道、5月21日死去。66歳。堺市。関大在学中に、学生剣道日本一になっている。

中原美義(なかはら・みよし) 昭25専2商・27学経、税理士、5月23日死去。84歳。堺市。

須田 一幸(すだ・かずゆき) 元商学部教授、専攻は経営財務論、5月31日死去。55歳。大津市。

原 一馬(はら・かずま) 昭28学法、元更生保護法人佐賀県更生保護協会常務理事、6月4日死去。85歳。佐賀市。

浅野洋一(あさの・よういち) 昭38学商、あさの文具代表者、川西支部長、校友会代議員、6月20日死去。70歳。川西市。

土屋雅信(つちや・まさのぶ) 昭27学文、レモン代表取締役、6月27日死去。81歳。吹田市。

井上 卓(いのうえ・たかし) 昭51学工、大紙化工所、6月30日死去。59歳。大阪市。



上田繁潔(うえだ・しげきよ) 昭17専2商・21大法、元学校法人関西大学理事長、5月20日死去。89歳。箕面市。

ご 良 縁

成婚率の高さがキメテ!!

株式会社 **Em Road** Marriage Road

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧に世話させて
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一アドバイザーが担当)
- 4 自社会員のための構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の
為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで
“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

NPO法人ワークライフバランス推進協力機構 監事
業界団体 NLB日本ナライセンス結婚専科システム協議会 理事

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
よいふうぶ よろしく
0120-4122-46

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべててづくり100%
の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

♪ 私どもに届いたお手紙です。

交際中はいろいろお世話になりました。
的確な時期にとっても参考になるアドバイスをいた
だき、感謝しています。
色々とお迷惑をおかけしましたが、このたび縁あって
素晴らしい女性と決まりました。
これから二人でいろいろ苦難もあると思いますが、
がんばっていきたいと思います。
京都大学大学院卒 公認会計士 35歳 男性



毎日新聞ビル5F 神戸国際会館19F オフィスワン四条烏丸6F

直営店
大阪 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都 京都市下京区室町通綾小路上の鶏鉾町480番地
オフィス・ワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

暑中御見舞申し上げます

サンケループ (知的財産専門集団)

代表
弁理士 **藤本 昇**
弁理士 **野村 慎一**
代表
弁理士 **藤本 周一**
大阪府中央区南船場一丁目一五〇一四
電話 〇六六二七二一七九〇八
FAX 〇六六二七二一七九一〇

特許業務法人 森本国際特許事務所

弁理士 **森本 義弘**
弁理士 **原田 洋平**
大阪府西区西本町一丁目四一
電話 〇六六五三二四〇二五
FAX 〇六六五三二四〇二五

山田特許事務所

弁理士 **山田 義人**
弁理士 **大村 和史**
大阪府中央区伏見町二丁目六六
電話 〇六一六二二九一〇五三
FAX 〇六一六二二九一九六七

公認会計士

石井公認会計士事務所

公認会計士 **石井 國男**
大阪府北区堂山町十八番三三
電話 〇六一六三六四一六八

税理士法人S・T・M総研

公認会計士 **石川 昌司**
税理士 **中野 秀之**
大阪府北区海田一丁目一三
電話 〇六一六三六四一五〇七

杉本会計・経営総合事務所

公認会計士 **杉本 光伸**
税理士 **杉本 あすか**
行政書士 **杉本 太平**
和泉市泊太町二丁目三二
電話 〇七二五二四四一〇五〇

玉置公認会計士事務所

公認会計士 **玉置 栄一**
大阪府中央区北浜一丁目三二
電話 〇六一六二二二一三九七
FAX 〇六一六二二二一三九五

関大法学部二十七年会会長

公認会計士 **畑下 辰典**
大阪府天王寺区上本町六丁目一〇一
電話 〇六一六七三三三八七
FAX 〇六一六七三三三八七

花田公認会計士事務所

公認会計士 **花田 昌己**
岸和田市別所町三丁目一〇
電話 〇七二四三三三三〇〇
FAX 〇七二四三三三三〇〇

三原公認会計士事務所

公認会計士 **三原 秀章**
大阪府西区阿波座一丁目五二
電話 〇六一六三三三三三三
URL <http://www.m-pa.com>

宮口会計事務所

税理士 **宮口 明**
公認会計士 **宮口 太**
高槻市天神町一丁目二二
電話 〇七二六八二二五九八
FAX 〇七二六八二二五九八

公認会計士 山田 榮一

大阪府天王寺区藤山二丁目一四
電話 〇六一六七三三三八七
FAX 〇六一六七三三三八七

関西大学校友会代議員会副議長 学校法人関西大学評議員財務委員長 公認会計士関大会会長

公認会計士 **山田 拓幸**
大阪府北区西天満五丁目九一五
電話 〇六一六三三三三五八五

税理士

井上会計事務所

税理士 **井上 公雄**
行政書士 **井上 公雄**
兵庫県篠山市杉一七〇一
電話 〇七九一五九四一〇二
FAX 〇七九一五九四一〇二

井上 高明

税理士 **井上 高明**
泉南市信達牧野四一五
電話 〇七二四八〇一三八
FAX 〇七二四八〇一三八

稲崎 清

税理士 **稲崎 清**
大阪府中央区天満橋京町三三
電話 〇六一六九四五一五五

上田吉彦税理士事務所

税理士 **上田 吉彦**
事務所 平五二二〇六五
大阪府中央区中寺二丁目一五〇一
電話 〇六一六七三三三八七
FAX 〇六一六七三三三八七

上野会計事務所

税理士 **上野 義雄**
税理士 **上野 和雄**
大阪府中央区谷町六丁目一五
電話 〇六一六七三三三八七

岡本 忍

税理士 **岡本 忍**
(事務所) 大阪府中央区
電話 〇六一六六六六七四五
(自宅) 高槻市

志水会計事務所

税理士 **志水 正芳**
大阪府北区東船場二丁目一五
電話 〇六一六七三三三八七
FAX 〇六一六七三三三八七

甚田 隆康

税理士 **甚田 隆康**
大阪府中央区南船場二丁目一八
電話 〇六一六七三三三八七
E-mail kajita@jinda.co.jp
URL <http://www.jinda.co.jp/>

杉本 秋男

税理士 **杉本 秋男**
名古屋市中区上本町一丁目一三
電話 〇五二二三三三三三三
FAX 〇五二二三三三三三三

背戸清三会計事務所

税理士 **背戸 清三**
大阪府北区中津二丁目四番二七号
電話 〇六一六三三三三八七

日本医業経営コンサルタント(公認)会員 税理士法人 東京中央会計

代表社員 **高橋 龍雄**
税理士 **高橋 龍雄**
本社 東京都豊島区池袋二丁目一三番二七号
電話 〇三三三三三三三八七
支社 大阪府大阪市東区新橋二丁目一六番二七号
電話 〇三三三三三三三八七

宝塚支部副支部長 税理士 塚本 壽一

宝塚市売布東の町十一番一十六
電話 〇七九七七八五一一四九
FAX 〇七九七七八五一一四九

中村良介税理士事務所 (有)エヌエスコンサルト

所長 **中村 良介**
大阪府北区曾根崎新地一丁目二〇
電話 〇六一六四四二二七五
FAX 〇六一六四四二二七五

羽賀順二会計事務所

税理士 **羽賀 順一**
大阪府天王寺区上本町六丁目一〇一
電話 〇六一六七三三三八七

古淵 孝仁

税理士 **古淵 孝仁**
学校法人 関西大学 評議員
関西大学教育後援会 相談役
関西大学校友会 常議員
(昭和五十五年法務部等)
堺市堺区市之町東二丁目二番二二
電話 〇七二二三三三三八七
FAX 〇七二二三三三三八七
E-mail furubuchi@fhs.ocn.ne.jp

税理士法人 大阪中央会計

代表社員 **山口 明文**
大阪府中央区内本町一丁目二二
電話 〇六一六三三三三八七
(昭和44年商学部卒 準法部OB)

司法書士

司法書士 **青砥 申生**
大阪府中央区今橋二丁目一番一
電話 〇六一六三三三三八七
FAX 〇六一六三三三三八七

司法書士青砥申生事務所

司法書士 **和泉 克弥**
枚方市宮之阪一丁目二二
電話 〇七二二三三三三八七
FAX 〇七二二三三三三八七

市田 利夫

司法書士 **市田 利夫**
大阪府北区浪花町十三番三八号
電話 〇六一六七三三三八七
FAX 〇六一六七三三三八七
E-mail scitad@scitad.com
HP <http://www.scitad.com>

日本司法書士会連合会 副会長

司法書士 **井上 利博**
(簡裁代理認定 一一三〇〇一)
京都府福知山市字天田小学大九三番地の一
電話 〇七二三三三三八七
FAX 〇七二三三三三八七

電話 〇七二三三三三八七
FAX 〇七二三三三三八七

暑中御見舞申し上げます

関西大学校友会参加
大阪司法書士会相談役

司法書士
植田 喜一

大阪府中央区淡路町二丁目一〇一
TEL 〇六六二二二二二〇八五
FAX 〇六六二二二二二八五

《地域に貢献する》

関大OBの司法書士グループ

司法書士法人 なにわ合同

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

高橋くれ司 司法書士事務所

司法書士
高橋 一夫

大阪府中央区谷町二丁目一〇一
電話 〇六一六九四一四七五

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

司法書士

不動産鑑定士

関大不動産鑑定士クラブ会長
(株)小川不動産鑑定事務所

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

不動産鑑定士

社会保険労務士

新居労務管理事務所

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険労務士
関大会一同

事務局 大阪府中央区船場二丁目一五二
電話 〇六一四七二二二〇六八
メール yamataka@roumu-support.net

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

社会保険
労務士

土地家屋調査士

佐和田登記測量事務所 松江市(顧問
島根県PR大使 造局使
近畿島根県人会役員
関西地区会長

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士

土地家屋調査士



結婚



(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。

33年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの
方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という
形で社会に貢献できる企業を目指しており、この度賛同を得て「関大コース」
を設立致しました。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の
皆様、大学教職員の方々はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付
(会員サポート費50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

会員サポート費 **50%** OFF

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル10F



お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>
<http://www.bridal-vip.net/m/>

上のQRコードにて携帯
サイトに簡単にアクセス
できます。(一部対応し
ない機種がございます。)



環境にやさしいハイブリッドカーは神戸トヨペット

PRIUSα

PRIUS

+

Space

プリウスのDNAを継承し、新たな価値をプラスした プリウスα [アルファ] 誕生。

このクルマが目指したもの。

それは、お客様一人ひとりがもっと自由に、もっと自分らしく、人生を楽しむことができるハイブリッドのまったく新しいカタチです。

ハイブリッドの代名詞であるプリウスから継承したダントツの燃費・環境性能・先進性に、開放的なスペースを融合させ、

乗る人すべてが誇りを持てる独自のデザインと、燃費を気にせずゆったりと出かけられるロングドライビングを実現。

日々の暮らしにかつてない歓びをもたらす新たな価値が、この一台に凝縮されています。

まだ、世界が見たことのないハイブリッドの次なる可能性に向かって。

「プリウスα」は今、走り出します。



PRIUS

PRIUSα

アルファード・S A I・マークX・マークXジオ・アベンシス・プレミオ・プリウス・プリウスα・ベルタ・ブレイド・ラクティス
ボルテ・ハリアー・ハリアーハイブリッド・ヴァンガード・ラッシュ・ハイエース・サクシード・トヨエース・コンフォート



神戸トヨペット

本社 / 神戸市兵庫区水木通2丁目1-1 TEL.078-576-5001 (代)

代表取締役 会長

西村太一

法学部 昭和31年卒



ISO14001
JAER 0314



みんなで止めよう温暖化

「神戸トヨペット」チーム・マイナス6%

<http://www.kobetoyopet.com>

